教材の利用について：このPDFは、利用者本人の個人学習目的で保存・印刷して利用できます。法令上認められる場合を除き、PDFまたは印刷物の第三者への配布・販売、問題・選択肢・解説の転載・流用、塾・講座・研修等での無断利用はできません。詳細は利用規約をご確認ください。https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0001｜難易度：1

施工経験記述の工事概要として、最も評価されやすい記述はどれか。

ア．『県道拡幅工事で、施工延長420m、盛土約8,000m3、現道交通を確保しながら施工管理を担当した。』

イ．『道路工事を行った。工期内に完成した。』

ウ．『大変難しい工事だったので注意した。』

エ．『会社の指示どおり工事を進めた。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。工事種類、規模、主要施工条件、本人の関与が具体的で、以後の記述の前提が分かる。

イ：誤り。工種・規模・施工条件・本人の立場が具体的でない。

ウ：誤り。『難しい』『注意した』だけでは工事内容が客観的に伝わらない。

エ：誤り。本人が施工管理上どのような役割を担ったかが不明である。

総合解説：公式第二次検定では、経験工事の概要を具体的に記した上で設問に答える形式が採られている。記述は第三者が現場条件を再現できる程度に具体化する。

問題 0002｜難易度：2

軟弱地盤上の道路盛土を経験工事として施工計画上の課題を書く場合、最も適切な記述はどれか。

ア．『盛土なので沈下に注意した。』

イ．『施工延長が長かったので頑張った。』

ウ．『軟弱層が厚く、急速盛立てにより過大沈下や側方変位が生じるおそれがあったため、盛立速度と動態観測方法の設定を課題とした。』

エ．『設計図を守ることを課題とした。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。懸念する現象と施工上の検討内容が曖昧である。

イ：誤り。長さそのものでは技術的課題になっていない。

ウ：正しい。現場条件、発生し得る不具合、施工計画で検討すべき項目が因果関係でつながっている。

エ：誤り。設計図書遵守は当然の前提で、固有の技術的課題になっていない。

総合解説：良い経験記述は『条件→想定リスク→検討課題』を明確にし、その後の対策・評価へ論理的につなげる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0003｜難易度：2

住宅密集地で鋼矢板を施工した経験について、施工方法の選定理由として最も適切な記述はどれか。

ア．『一般的な工法だったので採用した。』

イ．『担当者が慣れていたため採用した。』

ウ．『工期が短かったので、とにかく大型機械を使った。』

エ．『近隣住宅への騒音・振動影響と狭い施工ヤードを比較検討し、施工可能な圧入方式を採用した。』

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。現場条件に基づく選定理由がない。

イ：誤り。担当者の慣れだけでは技術的妥当性を説明できない。

ウ：誤り。環境条件・施工安全・機械配置の検討が欠けている。

エ：正しい。現場制約を示し、代替工法を意識した選定理由が具体的である。

総合解説：施工計画の記述では『何をしたか』に加えて『なぜその方法を選んだか』まで説明すると技術判断が伝わる。

問題 0004｜難易度：1

供用中の交差点部で埋設管更新工事を行った経験の施工計画記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『交通切替え可能時間が夜間4時間に限られたため、試掘で既設管位置を確定し、仮設材を事前配置して、掘削→管更新→仮復旧を1サイクル内で完結する手順とした。』

イ．『掘削、配管、埋戻しの順に施工した。』

ウ．『交通量が多かったので注意した。』

エ．『現場でその都度作業順序を決めた。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。時間制約、事前措置、具体的手順が対応しており施工計画として説得力がある。

イ：誤り。一般的な施工順序だけで、現場固有の制約と計画上の工夫がない。

ウ：誤り。具体的な計画措置がない。

エ：誤り。施工計画は事前に主要手順を検討しておく必要がある。

総合解説：施工経験記述では、工期・交通・埋設物・作業空間等の制約を施工手順へどう反映したかを示す。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0005｜難易度：2

施工計画で実施した対策の『評価』として、最も適切な記述はどれか。

ア．『うまくいったと思う。』

イ．『予定どおりだったので問題ない。』

ウ．『日施工量を計画値と実績値で毎日比較し、遅延なく施工でき、交通規制時間超過も0件であったため、計画した手順は有効であったと評価した。』

エ．『監督職員から何も言われなかった。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。主観的で検証可能な根拠がない。

イ：誤り。何を根拠に評価したかが不明である。

ウ：正しい。評価指標・実績・結論が対応している。

エ：誤り。指摘の有無だけでは施工計画の有効性を評価できない。

総合解説：経験記述の評価は、工程実績、測定値、事故件数、品質結果など客観的指標で示すとよい。

問題 0006｜難易度：3

掘削開始後に想定外の地下水が確認された経験を記述する場合、最も適切な流れはどれか。

ア．当初計画をそのまま継続し、完成後に地下水があったと記録する。

イ．現場判断で排水ポンプを増設し、誰にも報告しない。

ウ．作業を止めて状況を確認し、監督職員等と協議のうえ排水・土留め計画を見直し、変更内容を関係者へ周知して再開したと記述する。

エ．地下水は施工計画に関係しないため記述しない。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。条件変更を施工へ反映していない。

イ：誤り。安全・品質に影響する変更は組織的に管理する必要がある。

ウ：正しい。異常把握、協議、計画変更、周知、再開という実務的な変更管理が示されている。

エ：誤り。地下水は掘削安定・排水・工程へ大きく影響する。

総合解説：施工条件が設計時の想定と異なった場合、独断で進めず確認・協議・計画変更を行い、現場へ展開する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0007｜難易度：1

地下埋設物が多い市街地工事の施工計画記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『埋設物に注意した。』

イ．『管理図面を確認したので試掘は不要と判断した。』

ウ．『管理者台帳を確認し、試掘により平面位置・深さを確認して現地表示し、重機掘削範囲を制限した。』

エ．『掘削して埋設物が出たら考えることにした。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。何を確認し、どのように施工へ反映したか不明である。

イ：誤り。図面と現地が異なる可能性を考慮していない。

ウ：正しい。資料確認、現地確認、表示、施工制限まで具体的である。

エ：誤り。接触事故を未然に防ぐ計画になっていない。

総合解説：経験記述では『確認した』だけでなく、確認方法と結果をどの管理措置へ反映したかを書く。

問題 0008｜難易度：1

仮設道路の計画について、技術的な記述として最も適切なものはどれか。

ア．『最大車両荷重、地盤支持力、必要幅員、縦断勾配、排水を確認し、軟弱部には路盤材を追加して安全な走行路を確保した。』

イ．『工事車両が通れるように仮設道路を設けた。』

ウ．『空いている場所に道路を作った。』

エ．『大型車が一度通れたので計画は適切だった。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。荷重・地盤・線形・排水という仮設道路の主要条件を踏まえている。

イ：誤り。必要条件と設計根拠が不足している。

ウ：誤り。施工性・安全性の検討が見えない。

エ：誤り。一度通過できた事実だけでは継続使用時の安全性を評価できない。

総合解説：仮設物も施工中の構造物として、作用荷重・地盤・排水・維持管理を計画する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0009｜難易度：2

狭隘な河川内工事でバックホウを選定した理由の記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『会社にある機械を使った。』

イ．『最大機種なら作業が速いので選んだ。』

ウ．『作業半径、搬入路幅、地盤支持力、必要掘削能力を比較し、旋回時に仮締切と干渉しない0.45m3級を選定した。』

エ．『オペレーターが好きな機種を選んだ。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。保有状況だけでは安全・施工能力の妥当性を示せない。

イ：誤り。大型化に伴う接触・地盤・搬入の制約を無視している。

ウ：正しい。現場制約と必要能力を比較して合理的に選定している。

エ：誤り。個人の好みでは技術的根拠にならない。

総合解説：機械選定は必要能力だけでなく、作業空間・地盤・搬入・周辺干渉まで含めて説明する。

問題 0010｜難易度：1

長納期の橋梁支承を使用する工事の施工計画記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『工程表の据付予定日から製作・承認・検査・輸送期間を逆算し、発注期限を設定して進捗確認した。』

イ．『必要になってから発注した。』

ウ．『支承は資材なので工程管理には含めなかった。』

エ．『納期遅延時は現場で似た製品へ変更することにした。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。調達工程を施工工程に組み込み、必要時期から逆算して管理している。

イ：誤り。長納期品は必要時点から逆算した事前発注が必要である。

ウ：誤り。資材調達遅延は工期へ直結する。

エ：誤り。仕様変更には承認・設計確認等が必要である。

総合解説：施工計画では工事作業だけでなく、製作・承認・検査・搬入も工程に含める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0011｜難易度：1

施工計画の記述で『管理方法』を具体的に示す内容として、最も適切なものはどれか。

ア．『品質に注意して施工する。』

イ．『安全第一で施工する。』

ウ．『盛土は各層の仕上り厚を管理し、所定頻度で締固め度を確認し、基準外の場合は原因を確認して再転圧する。』

エ．『経験に基づき適切に判断する。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。管理項目・方法・判定が不明である。

イ：誤り。理念だけで具体的管理方法がない。

ウ：正しい。何を、どのように確認し、外れた場合どうするかが記されている。

エ：誤り。客観的な管理方法になっていない。

総合解説：施工計画では管理目標値・検査体制・安全対策等を具体化することが重要である。

問題 0012｜難易度：3

施工計画の経験記述として最も論理的な構成はどれか。

ア．工事概要→現場条件から生じる技術的課題→検討内容→具体的対策→結果・評価の順に記述する。

イ．対策→工事名→感想→課題の順で、各内容の関係は示さない。

ウ．会社概要→資格取得歴→工事概要→感想の順に記述する。

エ．工事概要だけを詳しく書き、課題や評価は省略する。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。実地記述として技術判断の流れが一貫している。

イ：誤り。課題と対策の因果関係が読み取りにくい。

ウ：誤り。設問で求められる施工管理上の技術内容から外れている。

エ：誤り。工事概要だけでは施工管理能力を評価できない。

総合解説：公式第二次検定も工事概要を前提に、技術的課題・検討項目・対応処置・評価を具体的に記述させている。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0013｜難易度：1

コンクリート工事の品質管理上の課題記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『夏期施工でコンクリート温度上昇と急激な水分逸散による初期ひび割れが懸念されたため、打込み時温度と養生方法の管理を課題とした。』

イ．『良いコンクリートを作ることを課題とした。』

ウ．『品質に気を付けることを課題とした。』

エ．『施工量が多かったことを品質課題とした。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。施工条件、品質上の不具合、管理項目が明確に対応している。

イ：誤り。品質特性と発生原因が曖昧である。

ウ：誤り。具体的な技術内容がない。

エ：誤り。施工量だけでは品質課題の説明にならない。

総合解説：品質経験記述では、対象品質特性とそれを悪化させる施工条件を具体化する。

問題 0014｜難易度：2

盛土の締固め不足を防ぐ品質管理記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『締固めを十分に行った。』

イ．『転圧回数だけを増やし、含水状態は確認しなかった。』

ウ．『材料の含水状態、敷均し厚、使用機械、転圧回数を試験施工で確認し、本施工ではその条件を標準化して締固め度を確認した。』

エ．『完成後に沈下しなければよいとした。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。どの条件で十分と判断したかが不明である。

イ：誤り。締固め効果は含水状態等にも左右される。

ウ：正しい。品質を左右する施工条件を事前確認し、本施工条件と検査へつなげている。

エ：誤り。完成後だけでなく施工中に品質を作り込む必要がある。

総合解説：品質管理では試験施工等により施工条件を確立し、測定・試験で結果を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0015｜難易度：1

品質対策の評価記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『対策後の全測定値が規格値を満足し、ばらつきも管理目標内に収まったため有効と評価した。』

イ．『監督員に褒められたので有効だった。』

ウ．『問題が起きなかった気がする。』

エ．『作業員が頑張ったので品質は良かった。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。規格値適合とばらつきという客観的データで対策効果を評価している。

イ：誤り。評価根拠が主観的である。

ウ：誤り。検証可能な根拠がない。

エ：誤り。努力と品質結果は別に確認する必要がある。

総合解説：品質対策の有効性は試験値・測定値・不適合件数等で評価する。

問題 0016｜難易度：2

生コンクリート品質の経験記述として最も適切なものはどれか。

ア．『納入書と配合を確認し、所定頻度でスランプ・空気量等を試験し、基準外の場合は打込みせず原因確認と処置を行った。』

イ．『到着した生コンはすべて受け入れた。』

ウ．『見た目が柔らかければ現場で加水した。』

エ．『圧縮強度試験だけ行えば受入れ時確認は不要とした。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。材料確認、受入れ試験、不適合時処置が一連で示されている。

イ：誤り。受入れ時の品質確認が不足している。

ウ：誤り。無断加水は品質を損なう。

エ：誤り。フレッシュ性状の確認も重要である。

総合解説：品質管理記述では『受入れ→施工→養生→試験』をつなげて管理したことを示すとよい。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0017｜難易度：3

出来形測定で一部が規格値を外れていることを確認した経験を記述する場合、最も適切な内容はどれか。

ア．測定値を規格内に書き換えて完成書類を整えた。

イ．測定位置を変えて合格値だけを採用した。

ウ．当該箇所を識別・施工停止し、測定方法を再確認して不適合範囲と原因を特定し、監督職員と処置を協議して是正後に再測定した。

エ．軽微に見えたため記録せず埋め戻した。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。記録改ざんであり品質管理として不適切である。

イ：誤り。恣意的な測定位置変更は適正な判定にならない。

ウ：正しい。隔離、再確認、原因分析、協議、是正、再確認の流れが明確である。

エ：誤り。不適合は記録・評価・処置が必要である。

総合解説：品質不適合は隠さず、事実確認・原因分析・処置・再確認をトレーサブルに管理する。

問題 0018｜難易度：2

埋戻し後に確認できなくなる鉄筋・配管等の品質記録として、最も適切な記述はどれか。

ア．『施工前・施工中に必要な寸法、位置、材料表示等が確認できるよう写真を撮影し、測定記録と対応付けた。』

イ．『完成後に見えないので写真は不要とした。』

ウ．『遠景写真1枚だけを撮影した。』

エ．『工事写真は広報用なので品質管理には使わなかった。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。不可視部の品質・出来形を後から確認できる記録となっている。

イ：誤り。不可視部ほど施工時の記録が重要である。

ウ：誤り。必要事項を確認できない可能性が高い。

エ：誤り。工事写真は施工状況・出来形・品質確認の重要資料である。

総合解説：不可視部は施工時点で写真・測定記録を残し、後工程で追跡できるようにする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0019｜難易度：2

舗装の締固め度にばらつきが出た経験について、改善記述として最も適切なものはどれか。

ア．『測定結果を施工時間帯・混合物温度・転圧開始温度・転圧回数と照合し、温度低下が大きい区間でばらつきが増えたため運搬・転圧手順を見直した。』

イ．『転圧オペレーターへ注意した。』

ウ．『ばらつきは現場では普通なので無視した。』

エ．『平均値が良ければ個々の測定値は確認しなかった。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。品質データと施工条件を関連付け、原因仮説に基づいて工程を改善している。

イ：誤り。注意喚起だけでは原因が明確でない。

ウ：誤り。ばらつきは工程異常の兆候になり得る。

エ：誤り。個々の規格値適合も必要である。

総合解説：品質管理では結果だけでなく施工条件を記録し、変動原因を特定してフィードバックする。

問題 0020｜難易度：1

品質管理の経験記述で、判定基準の示し方として最も適切なものはどれか。

ア．『設計図書、適用する施工管理基準・規格値等を確認し、対象工種の管理項目・頻度・規格値を施工計画へ反映した。』

イ．『自社でいつも使う値を規格値とした。』

ウ．『作業員の感覚で合否を決めた。』

エ．『基準値は完成後に決めた。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。工事に適用される基準を事前に確認して管理計画へ反映している。

イ：誤り。工事ごとの契約・適用基準を確認する必要がある。

ウ：誤り。客観的な規格判定にならない。

エ：誤り。施工前に管理基準を確定する。

総合解説：品質管理は設計図書と適用基準を基礎に、施工前に管理方法・判定基準を定める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0021｜難易度：3

冬期コンクリート施工で低温による強度発現遅延が課題であった。経験記述の対策として最も適切なものはどれか。

ア．養生期間を通常より短くした。

イ．打込み後すぐ型枠を外した。

ウ．気温予測を確認し、材料・打込み温度と保温養生方法を計画し、養生中の温度を記録して所要強度の確認後に次工程へ移った。

エ．寒い日はセメント量を現場判断で自由に増やした。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。低温時は十分な養生がより重要となる。

イ：誤り。必要強度確認前の脱型は品質・安全上不適切である。

ウ：正しい。低温条件に対し温度管理、養生、強度確認が一貫している。

エ：誤り。配合を現場で恣意的に変更してはならない。

総合解説：品質経験記述では施工条件に対応した具体策と、その有効性確認方法をセットで示す。

問題 0022｜難易度：3

品質管理の経験記述として最も完成度が高いものはどれか。

ア．『品質が重要なので丁寧に施工し、結果も良かった。』

イ．『課題はひび割れだった。散水した。完成した。』

ウ．『高温・強風下で床版の初期ひび割れが懸念されたため、打込み温度・施工区画・養生開始時期を検討し、打込み直後から湿潤養生を行った。表面観察と所定試験で異常がないことを確認し有効と評価した。』

エ．『品質は試験会社に任せたため自分では管理していない。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。課題・措置・評価が具体的でない。

イ：誤り。課題原因や対策選定根拠、評価が不足する。

ウ：正しい。条件、課題、検討、対策、確認・評価が一貫している。

エ：誤り。施工管理者自身が品質管理体制を確立して管理する必要がある。

総合解説：第二次検定で求められる記述力を4択化する際も、技術的な因果関係の一貫性を重視する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0023｜難易度：1

深さ4mの掘削工事について、安全管理上の技術的課題の記述として最も適切なものはどれか。

ア．『安全第一を課題とした。』

イ．『深く掘るので注意することを課題とした。』

ウ．『軟弱な地山と湧水により掘削面崩壊のおそれがあったため、土止め支保工の施工手順と地山・湧水の点検方法を課題とした。』

エ．『ヘルメット着用を課題とした。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。抽象的で危険源と対策検討が分からない。

イ：誤り。崩壊要因と管理項目が具体的でない。

ウ：正しい。地盤条件から事故シナリオを想定し、検討すべき安全措置を示している。

エ：誤り。保護帽は必要だが、掘削崩壊という主要リスクの対策になっていない。

総合解説：安全経験記述では、危険源→想定災害→低減措置という流れを具体化する。

問題 0024｜難易度：1

橋脚上の高所作業について安全対策の記述として最も適切なものはどれか。

ア．作業床・手すり・安全な昇降設備を設け、必要箇所では墜落制止用器具を使用し、下方を立入禁止とした。

イ．フルハーネスを着用させたので作業床や手すりは省略した。

ウ．熟練者だけ配置して設備対策を減らした。

エ．作業時間を短くして墜落対策の代わりとした。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。墜落防止、昇降安全、飛来落下防止を多重に管理している。

イ：誤り。保護具だけに依存せず設備的対策を優先する。

ウ：誤り。熟練度にかかわらず必要な防護を行う。

エ：誤り。短時間でも墜落危険は存在する。

総合解説：安全管理は危険源を除去・隔離する設備対策を基本に、保護具・立入管理を組み合わせる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0025｜難易度：2

狭いヤードでバックホウと人力作業が混在した工事の安全記述として、最も適切なものはどれか。

ア．『オペレーターへ注意するよう伝えた。』

イ．『作業員に重機を避けるよう指示した。』

ウ．『重機作業範囲と人の通路を区画し、後退・旋回時は誘導者を配置し、合図方法を統一した。』

エ．『警報音が鳴るため特別な対策はしなかった。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。注意喚起だけでは接触防止の実効性が弱い。

イ：誤り。作業員側だけに回避責任を負わせている。

ウ：正しい。動線分離、誘導、合図統一という具体的な管理措置である。

エ：誤り。警報装置だけで死角・誤進入を完全には防げない。

総合解説：混在作業では人と機械の動線分離を優先し、必要に応じ誘導・立入禁止を行う。

問題 0026｜難易度：2

安全対策の評価として最も適切な記述はどれか。

ア．『毎日の点検記録、立入違反件数、ヒヤリハット報告を確認し、対策後に危険行動が減少したことを確認して運用を継続した。』

イ．『事故がなかったので全対策が完璧だった。』

ウ．『作業員から苦情がなかったので安全だった。』

エ．『安全設備を設置したので点検しなかった。』

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。先行指標を用いて対策の実施状況と効果を確認している。

イ：誤り。無事故だけでは潜在リスクの低下を十分評価できない。

ウ：誤り。苦情の有無は安全性の客観指標とは限らない。

エ：誤り。設備は設置後の点検・維持管理が必要である。

総合解説：安全対策の評価には事故件数だけでなく、点検結果・是正件数・危険行動など予防指標も活用する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0027｜難易度：3

当初計画より大型のクレーンへ変更した経験を安全管理として記述する場合、最も適切な内容はどれか。

ア．変更後の作業半径・アウトリガー反力・地盤支持力・架空線離隔を再確認し、配置図と立入範囲を変更して関係者へ周知した。

イ．能力が大きいので安全性も自動的に高くなると判断した。

ウ．運転者が経験者だったので安全計画は変更しなかった。

エ．クレーンの型式だけ記録して作業を開始した。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。機械変更で変化するリスクを再評価し、計画と現場管理へ反映している。

イ：誤り。大型化で地盤反力・干渉範囲等が増えることがある。

ウ：誤り。経験だけで変更リスクは消えない。

エ：誤り。安全条件の再検討が必要である。

総合解説：機械・施工方法・工程変更時はリスクアセスメントをやり直し、措置も更新する。

問題 0028｜難易度：2

市街地道路工事の安全管理記述として、最も適切なものはどれか。

ア．作業員の安全だけを書き、歩行者・一般車両は警察の責任とした。

イ．仮囲いを設置したので他の第三者対策は不要とした。

ウ．歩行者仮通路、工事車両出入口、夜間照明、飛来落下防止を計画し、交通誘導員と作業班の連絡方法を定めた。

エ．交通量が多いため工事車両を常に優先した。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。公衆災害防止も施工者が管理すべき重要事項である。

イ：誤り。仮囲いだけでは全ての公衆リスクを防げない。

ウ：正しい。第三者の動線・視認性・車両交錯・落下物を総合管理している。

エ：誤り。一般交通の安全を確保する必要がある。

総合解説：土木工事の安全管理では労働者災害と第三者災害をともに評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0029｜難易度：1

安全管理の経験記述で、より望ましい対策の考え方はどれか。

ア．危険源を除去・隔離できる対策をまず検討し、それで残るリスクに管理措置・保護具を組み合わせる。

イ．保護具だけで全ての危険に対応する。

ウ．注意喚起を最優先し設備改善は行わない。

エ．事故後に初めて対策を検討する。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。危険源そのものへの対策を優先し、多重にリスクを低減する考え方が基本である。

イ：誤り。保護具は重要だが危険源対策を代替しない。

ウ：誤り。人の注意だけに依存しない。

エ：誤り。予防的に対策する必要がある。

総合解説：安全経験記述では『なぜその対策を優先したか』というリスク低減の考え方も示すとよい。

問題 0030｜難易度：3

深掘削工事の安全経験を答案化する場合、技術判断の流れが最も明確な記述はどれか。

ア．『事故防止のため毎朝KYを行った。結果、無事故だった。』

イ．『ベテラン作業員を配置したので安全だった。』

ウ．『深掘削で崩壊が懸念されたため、土質・地下水・上載荷重を確認して段階掘削と支保工設置手順を定め、降雨後点検と変位監視を実施した。異常管理値への到達はなく安全に完了した。』

エ．『安全設備は下請業者に任せ、自分は工程のみ管理した。』

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。KYだけでは主要危険源への具体的対策が不足する。

イ：誤り。人選だけでは設備・作業方法のリスクを十分低減できない。

ウ：正しい。危険条件、検討、具体策、監視、評価が一貫している。

エ：誤り。元請・施工管理者として安全管理を統括する必要がある。

総合解説：安全記述も品質記述と同様、課題→検討→対策→確認・評価という技術的な一貫性が重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0031｜難易度：1

工程が予定より5日遅れていることが判明した。最初の対応として最も適切なものはどれか。

ア．直ちに全作業員へ残業を命じる。

イ．工程表の予定日だけ書き換える。

ウ．遅延している作業、原因、クリティカルパスへの影響、今後の制約条件を確認する。

エ．遅延を隠して完成直前まで様子を見る。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。原因と影響を把握せず人員だけ増やすと逆効果になる場合がある。

イ：誤り。実態を変えず予定だけ変更しても工程回復にはならない。

ウ：正しい。遅延対策は原因と工程影響の把握から始める。

エ：誤り。早期把握・早期対策が重要である。

総合解説：工程遅延時は、実績工程と計画工程を比較し、遅延原因とクリティカルな作業への影響を分析してから対策を選ぶ。

問題 0032｜難易度：1

ネットワーク工程表で、余裕時間0日の作業Aが3日遅れた。後続作業の短縮余地がない場合の影響として最も適切なものはどれか。

ア．工期には影響しない。

イ．余裕時間が自動的に3日増える。

ウ．原則として全体工期も3日遅れる可能性が高い。

エ．作業Aを工程表から削除すればよい。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。余裕0日の作業はクリティカルパス上にある。

イ：誤り。遅延によって余裕が増えるわけではない。

ウ：正しい。後続で吸収できない場合、Aの遅延は完成時期へ直接影響する。

エ：誤り。必要作業を工程表から削除しても実作業はなくならない。

総合解説：クリティカルパス上の遅延は全体工期へ直結するため、優先的に回復策を検討する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0033｜難易度：1

ある作業のトータルフロートが4日で、現在2日の遅延が生じている。他条件が変わらない場合、最も適切な判断はどれか。

ア．直ちに全体工期が2日遅れる。

イ．余裕は6日に増える。

ウ．残り2日の余裕があり、現時点では全体工期へ影響しない可能性がある。

エ．遅延したので必ず作業を中止する。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。遅延がフロート内なら全体工期へ直結しない場合がある。

イ：誤り。遅延は余裕を消費する。

ウ：正しい。4日の余裕のうち2日を消費し、2日残る。

エ：誤り。遅延だけを理由に作業中止するものではない。

総合解説：遅延の重大性は日数だけでなく、当該作業の余裕時間と後続工程との関係で判断する。

問題 0034｜難易度：2

橋梁支承の製作が10日遅れる見込みとなった。最も適切な対応はどれか。

ア．代替品へ現場判断で即時変更する。

イ．納入まで全現場作業を停止する。

ウ．支承据付がクリティカルか確認し、製作工程短縮、検査日調整、他作業の先行可否、必要な設計・発注者協議を組み合わせる。

エ．納期遅延を工程表へ反映しない。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。仕様変更には技術確認・承認等が必要である。

イ：誤り。支承と無関係な作業まで止める必要はない。

ウ：正しい。調達遅延の影響を把握し、承認可能な範囲で複数の回復策を検討している。

エ：誤り。最新の見込みを工程管理へ反映する必要がある。

総合解説：長納期品の遅延では、調達工程と現場工程を統合して回復策を検討する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0035｜難易度：2

狭い掘削底面の作業が遅れているため、人員を2倍に増やす案が出た。最も適切な判断はどれか。

ア．人数を増やせば必ず工期は半分になる。

イ．遅延時は安全通路を資材置場へ転用する。

ウ．作業空間、重機動線、作業干渉、管理者配置を確認し、生産性が実際に向上する範囲で増員を検討する。

エ．人数を増やした分だけ休憩を減らす。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。作業空間・作業干渉により人数と生産性は比例しない。

イ：誤り。避難・安全通路を確保する必要がある。

ウ：正しい。増員による効果と新たな安全・干渉リスクを併せて評価する。

エ：誤り。休憩削減は安全・労務上不適切である。

総合解説：工程回復策は安全・品質を損なわず実効性があるかを検証して採用する。

問題 0036｜難易度：2

工程短縮のため、これまで直列だった2作業を並行施工する案を検討している。最も適切な考え方はどれか。

ア．工程が短くなるなら無条件で並行施工する。

イ．同じ場所で重機が干渉しても時間短縮を優先する。

ウ．作業間の技術的先行関係、人・機械の干渉、安全、品質への影響を確認し、独立して施工可能な場合に並列化する。

エ．施工順序は工程管理とは関係ない。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。技術的依存関係を崩すと品質・安全問題が生じる。

イ：誤り。接触災害や作業阻害を招く。

ウ：正しい。並列化は先行関係と干渉条件を満たす場合に有効である。

エ：誤り。施工順序は工程計画の基本要素である。

総合解説：工程短縮では作業の前後関係を維持しつつ、真に独立可能な作業を並列化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0037｜難易度：2

長雨により土工が7日遅れたが、コンクリート二次製品の製作は予定どおり進んでいる。最も適切な対応はどれか。

ア．土工の安全条件を無視して雨天中も強行施工する。

イ．すべての作業を土工再開まで停止する。

ウ．天候回復後の土工生産性向上策と、影響を受けない製作・準備作業の先行を検討し、工程を組み替える。

エ．遅延を取り戻すため品質試験を省略する。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。地盤悪化時の強行施工は安全・品質を損なう。

イ：誤り。独立して進められる作業まで停止する必要はない。

ウ：正しい。安全条件を守りつつ、影響のない作業を先行して遅延を吸収する。

エ：誤り。工程回復を理由に品質管理を省略してはならない。

総合解説：天候遅延では、施工不能作業と継続可能作業を分けて再スケジューリングする。

問題 0038｜難易度：2

残工事量が1,200m、現在の実績施工量が1日80mで、残り作業可能日数が12日しかない。単純計算上、必要な平均日施工量はいくらか。

ア．80m/日：現在の実績施工量をそのまま維持する案

イ．90m/日：残工事量を1,080mとして見積もる案

ウ．100m/日：1,200mを残り12日で均等に施工する案

エ．120m/日：10日で終える余裕を持たせた施工量を採る案

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。1,200÷12ではない。

イ：誤り。必要量に達しない。

ウ：正しい。1,200m÷12日＝100m/日である。

エ：誤り。必要量を超える値で、最低必要平均ではない。

総合解説：回復工程は『頑張る』ではなく、残数量と残日数から必要生産性を定量化し、達成可能な資源計画へ落とす。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0039｜難易度：2

コンクリート構造物の工期短縮策として、最も不適切なものはどれか。

ア．プレキャスト化の適用可能性を検討する。

イ．型枠・鉄筋作業の先行製作やユニット化を検討する。

ウ．必要な養生期間や強度確認を省略して次工程へ進む。

エ．施工区画を見直して独立可能な作業を並行化する。

答え・解説　正答：ウ

ア：誤りではない。適用条件を満たせば有効な工程短縮策となる。

イ：誤りではない。施工性・品質を確認したうえで有効な場合がある。

ウ：正しい。必要な養生・強度確認を省略することは品質・安全を損なうため不適切である。

エ：誤りではない。作業干渉がなければ有効な場合がある。

総合解説：工程回復は品質・安全・法令を守ることが前提であり、必須工程の省略は対策にならない。

問題 0040｜難易度：1

工程遅延の原因分析として最も適切なものはどれか。

ア．『作業員のやる気不足』とだけ結論付ける。

イ．予定工程が正しい前提で実績を確認しない。

ウ．誰が悪いかだけを先に決める。

エ．設計変更、資材納期、機械故障、作業能率、天候、手戻り等に分け、工程実績と照合して主因を特定する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。抽象的な人的評価だけでは対策へつながらない。

イ：誤り。計画側の前提が不適切な可能性もある。

ウ：誤り。原因分析と責任追及は区別する。

エ：正しい。原因を分類し、実績データで主因を特定することで有効な対策を選べる。

総合解説：遅延対策は真因へ効く必要があるため、工程データと施工条件を用いて原因を具体化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0041｜難易度：2

回復工程表を作成した後の管理として、最も適切なものはどれか。

ア．回復工程表を作った時点で工程管理を終了する。

イ．遅延が再発しても工期直前まで対策を変えない。

ウ．元の工程表だけを使い続ける。

エ．日・週単位で実績を確認し、回復目標との差を見て必要に応じ資源配置や手順を再調整する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。回復計画は実行・確認して初めて効果がある。

イ：誤り。早期是正が重要である。

ウ：誤り。最新の回復計画と実績で管理する必要がある。

エ：正しい。短い管理周期で回復状況を追跡し、ずれを早期修正する。

総合解説：工程管理は計画→実施→実績把握→差異分析→是正のサイクルで行う。

問題 0042｜難易度：1

現地地盤が設計条件と大きく異なり、施工方法の変更が必要で工期影響も見込まれる。最も適切な対応はどれか。

ア．施工者の判断だけで工法変更し、工期は当初どおりとする。

イ．当初設計と異なっても無理に同じ施工方法を続ける。

ウ．工期に影響するので地盤差異を報告しない。

エ．現地条件と影響を記録し、監督職員と施工方法・工程・必要な契約変更等を協議する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。設計・契約条件に関わる変更を独断で行わない。

イ：誤り。安全・品質を損なう可能性がある。

ウ：誤り。後の重大な手戻り・紛争につながる。

エ：正しい。条件差異を客観的に整理し、施工・工程・契約を一体で協議する。

総合解説：設計条件との差異による工程影響は、技術的根拠と記録をもとに早期協議する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0043｜難易度：3

全体工期が10日遅れる見込みで、原因は長雨5日、資材遅延3日、低い施工能率2日である。最も適切な回復計画はどれか。

ア．全原因に対して作業員を一律2倍にする。

イ．品質検査を10日分省略する。

ウ．遅延日数10日をそのまま完成日に加えるだけとする。

エ．天候影響作業の再配置、資材納期の短縮・他作業先行、ボトルネック作業の能率改善を個別に検討し、ネットワーク工程で工期影響を再計算する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。原因ごとに有効な対策が異なる。

イ：誤り。品質管理の省略は認められない。

ウ：誤り。回復可能性を検討していない。

エ：正しい。原因別対策を立て、全体工程上の効果を再評価している。

総合解説：工程遅延は原因ごとに分解し、最も効果の高い回復策を組み合わせて全体工程で評価する。

問題 0044｜難易度：3

工程回復対策を実施した後、その効果を判断する方法として最も適切なものはどれか。

ア．現場が忙しくなったかどうかで判断する。

イ．作業員数が増えたら工程回復したと判断する。

ウ．残業時間が増えたら効果があると判断する。

エ．計画した日施工量、マイルストーン、クリティカル作業の実績を追跡し、所定期間で遅延差が縮小しているか確認する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。忙しさは工程回復の客観指標ではない。

イ：誤り。人数増加も成果指標ではない。

ウ：誤り。残業増加は投入量であり成果そのものではない。

エ：正しい。回復目標と実績差で効果を評価している。

総合解説：回復策は投入資源ではなく、工程差異が実際に縮小しているかで評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0045｜難易度：1

施工中に品質試験値が規格値を外れた場合、最も適切な初動はどれか。

ア．そのまま次工程へ進む。

イ．合格した試験結果だけを残す。

ウ．規格値を測定値に合わせて変更する。

エ．当該施工・材料を識別し、必要に応じ使用・施工を止め、試験方法と事実関係を確認する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。不適合範囲を拡大させる可能性がある。

イ：誤り。不都合な結果も品質記録として管理する。

ウ：誤り。規格値を恣意的に変更してはならない。

エ：正しい。まず不適合を隔離し、測定・試験が正しいかを含め事実を確認する。

総合解説：品質不良対応は『隔離・停止→事実確認→原因分析→処置→再確認』が基本となる。

問題 0046｜難易度：1

品質試験が不合格だったため再試験を行う場合、最も適切な考え方はどれか。

ア．合格するまで何度でも試験し、最後の合格値だけ採用する。

イ．再試験をすれば原因分析は不要である。

ウ．最初の不合格結果を削除してから再試験する。

エ．試験方法・供試体・機器等に異常がないか確認し、適用基準や監督職員との協議に従って再試験の妥当性を判断する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。恣意的な再試験は品質保証にならない。

イ：誤り。真の品質不良なら原因と処置が必要である。

ウ：誤り。試験履歴を残す必要がある。

エ：正しい。再試験の根拠と条件を明確にし、元の不合格も含めて管理する。

総合解説：再試験は不合格を消す手段ではなく、試験の妥当性や是正後の状態を確認する手段である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0047｜難易度：2

舗装の一地点で締固め度不足が確認された。次の対応として最も適切なものはどれか。

ア．その一点だけを直して終了する。

イ．平均値が合格なら当該不合格値を無視する。

ウ．全施工区間を無条件で撤去する。

エ．同一施工条件・同一ロット・前後区間の記録を確認し、必要な追加測定で不適合範囲を特定する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。不良が周辺へ広がっている可能性を確認していない。

イ：誤り。個別規格値も満足する必要がある。

ウ：誤り。範囲確認前に全量撤去するのは合理的でない。

エ：正しい。同じ原因が作用した範囲を施工記録・追加確認で特定する。

総合解説：品質不良は点として扱わず、施工ロット・時間帯・材料・機械条件から影響範囲を評価する。

問題 0048｜難易度：3

コンクリート強度不足が確認された。最も適切な原因分析はどれか。

ア．作業員の注意不足とだけ決めつける。

イ．施工写真だけ見て原因を決める。

ウ．強度不足なので原因を調べず全面撤去する。

エ．配合・材料、受入れ試験、運搬時間、加水の有無、打込み・締固め、養生、供試体作製・試験条件を系統的に確認する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。原因候補を狭めすぎている。

イ：誤り。写真は一資料であり全要因を判断できない。

ウ：誤り。原因・構造影響を評価して処置を決める。

エ：正しい。材料から施工・養生・試験まで強度に影響する要因を系統的に確認している。

総合解説：品質不良の再発防止には、結果だけでなく工程全体から真因を特定する必要がある。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0049｜難易度：2

出来形不良が確認された構造物の処置として、最も適切な考え方はどれか。

ア．施工者だけで補修方法を決定する。

イ．工期が厳しければ無条件で補修せず受け入れる。

ウ．外観が良ければ規格外でも必ず受け入れる。

エ．構造安全性・耐久性・機能・規格への影響を評価し、設計者・監督職員等と協議して補修、再施工、受入可否を決める。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。契約品質に関わる処置を独断で決めない。

イ：誤り。工期都合で品質要求を無視できない。

ウ：誤り。外観だけで性能は判断できない。

エ：正しい。不適合の影響と処置後性能を技術的に評価して決定する。

総合解説：不適合処置は『直せばよい』ではなく、要求性能を満たすことを確認して決める。

問題 0050｜難易度：1

品質不良箇所へ補修工を実施した直後、是正処置を完結させるための対応として最も適切なものはどれか。

ア．補修を実施した事実だけ記録して完了とする。

イ．作業員の自己申告で合格とする。

ウ．補修前の不合格記録を削除する。

エ．補修後に要求品質を満たしたか、必要な測定・試験・外観確認等を行い記録する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。補修結果の有効性確認が必要である。

イ：誤り。客観的な確認が必要である。

ウ：誤り。不合格から是正までの履歴を残す。

エ：正しい。是正後の適合性を再確認して初めて処置が完結する。

総合解説：是正処置は『実施』と『効果確認』を分けて管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0051｜難易度：2

基礎コンクリートの品質判定が未確定のまま上部構造の施工日が迫っている。最も適切な対応はどれか。

ア．工程を優先して上部構造を施工する。

イ．後で確認できるのでそのまま埋める。

ウ．判定書類の日付だけ先に作成する。

エ．必要な品質確認が完了するまで次工程への移行を保留し、判定結果に応じて工程を再調整する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。後戻り困難な状態で不適合が判明すると手戻りが拡大する。

イ：誤り。不可視になる前に必要確認を完了する。

ウ：誤り。実態と異なる記録作成は不適切である。

エ：正しい。重要な品質確認をホールドポイントとして次工程移行条件にする。

総合解説：品質判定が次工程の前提となる箇所では、工程管理と品質管理を連動させる。

問題 0052｜難易度：2

同じ材料を用いた複数箇所のうち一部だけ品質不良となった。原因特定に最も有効な情報はどれか。

ア．各箇所の施工日時、材料ロット、作業班、機械、気象、測定・試験記録を対応付けた記録

イ．工事全体の完成写真1枚

ウ．会社の年間売上高

エ．作業員の勤続年数だけ

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。施工条件を箇所ごとに追跡できれば、不良箇所特有の差を比較できる。

イ：誤り。詳細な施工条件を追跡できない。

ウ：誤り。品質不良の直接原因分析には関係しない。

エ：誤り。一要因にすぎず、施工条件全体を確認できない。

総合解説：品質記録は合格証明だけでなく、不具合時に原因を追跡するトレーサビリティの基礎となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0053｜難易度：1

重要構造部で設計値に影響する可能性のある不適合が見つかった。最も適切な対応はどれか。

ア．現場内で補修し、発注者には報告しない。

イ．工期に影響するため検査まで隠す。

ウ．写真を削除してやり直す。

エ．不適合状況・範囲・原因仮説・応急措置を整理し、監督職員へ報告・協議して正式な処置方針を決める。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。重要な不適合を独断で処置しない。

イ：誤り。早期報告ほど手戻り・影響を小さくできる。

ウ：誤り。品質記録の隠蔽となる。

エ：正しい。事実を透明に整理し、必要な関係者と技術的に処置を決める。

総合解説：重要不適合は早期に報告・協議し、契約要求と性能を満足する処置を選定する。

問題 0054｜難易度：3

1つの班で鉄筋かぶり不足が発生し、原因がスペーサ固定方法の不統一と判明した。最も適切な再発防止はどれか。

ア．当該箇所だけ補修して他班には知らせない。

イ．今後は写真を増やすだけとする。

ウ．作業員1人だけを叱責して終了する。

エ．固定方法を標準化し、全班へ周知・教育し、類似施工済み箇所も確認し、次回から検査項目へ反映する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。同じ原因による他箇所・今後施工への再発を防げない。

イ：誤り。写真だけでは固定方法の標準化にならない。

ウ：誤り。個人責任化だけでは工程上の原因を除去できない。

エ：正しい。原因に対する標準化・水平展開・既施工確認・管理強化を行っている。

総合解説：不良対応は局所補修だけで終わらせず、同一原因が作用する範囲へ水平展開する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0055｜難易度：1

完成した構造物の位置・寸法を測定する出来形管理で、最終的に確認すべき事項として最も適切なものはどれか。

ア．完成した構造物の位置・寸法等が設計図書や規格値に適合していることを確認する

イ．作業員の出勤率を確認する

ウ．工事原価だけを確認する

エ．建設機械の燃料使用量を確認する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。出来形管理は工事目的物の位置・寸法・形状等を確認する管理である。

イ：誤り。労務管理の事項である。

ウ：誤り。原価管理の事項である。

エ：誤り。機械管理の事項である。

総合解説：出来形は品質と区別しつつ、設計図書への適合性を客観的に確認する。

問題 0056｜難易度：1

出来形規格値が設計値±20mmで、測定値が設計値＋18mmであった。判定として最も適切なものはどれか。

ア．規格値内である。

イ．規格値外である。

ウ．測定値が正なので判定不能である。

エ．必ず再施工する。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。＋18mmは＋20mm以内であり規格値を満足する。

イ：誤り。許容範囲内である。

ウ：誤り。正負に関係なく規格範囲と比較する。

エ：誤り。規格値内であり、この数値だけで再施工とはならない。

総合解説：出来形判定は測定値と設計値の差を規格値へ正しく照合する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0057｜難易度：2

出来形測定で一部に規格外が出たため、測定位置を合格しやすい場所へ変更したい。最も適切な対応はどれか。

ア．規格値を満たすまで測定場所を移動する。

イ．平均値がよければ測定位置は自由に変える。

ウ．規格外測定値を削除する。

エ．適用基準・施工計画で定めた測定位置・頻度に従い、規格外箇所は不適合として適正に処置する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。恣意的な測定位置変更は適正な出来形判定にならない。

イ：誤り。測定位置・頻度は基準に従う。

ウ：誤り。不都合な結果も記録する必要がある。

エ：正しい。事前に定めた管理方法に従い、規格外を正しく扱う。

総合解説：出来形判定の信頼性には、測定方法・位置・頻度が一貫していることが重要である。

問題 0058｜難易度：2

出来形測定値が規格値ぎりぎりで、測定器の校正期限も過ぎていた。最も適切な対応はどれか。

ア．その測定値をそのまま正式値とする。

イ．測定記録を破棄する。

ウ．規格値を広げて合格とする。

エ．測定器の精度・校正状態を確認し、信頼できる機器で必要な再測定を行う。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。測定値の信頼性に疑義がある。

イ：誤り。経緯を含めて記録管理する。

ウ：誤り。規格値を恣意的に変更できない。

エ：正しい。測定機器の適正性を確認し、信頼できる測定結果で判定する。

総合解説：出来形判定は数値だけでなく、測定器・方法・測定者等の測定品質にも依存する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0059｜難易度：2

埋戻し後に見えなくなる基礎寸法の出来形管理として、最も適切なものはどれか。

ア．埋戻し後に推定する。

イ．設計図があるので現地測定は不要とする。

ウ．完成写真だけ撮る。

エ．埋戻し前に所定寸法を測定し、必要な写真と測定記録を残して確認後に次工程へ進む。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。不可視化後では正確な確認が困難になる。

イ：誤り。施工結果を現地で確認する必要がある。

ウ：誤り。完成後では基礎寸法を確認できない。

エ：正しい。不可視になる前に測定・写真記録を完了する。

総合解説：不可視部はホールドポイントを設け、次工程前に出来形を確定させる。

問題 0060｜難易度：2

出来形測定10点の平均値は設計値と一致しているが、そのうち1点が個別規格値を外れていた。最も適切な判断はどれか。

ア．平均値が合っているので全体を合格とする。

イ．平均値が良ければ個別値は記録しない。

ウ．外れた1点を集計から削除する。

エ．個別規格値の要求がある場合、その1点は不適合として原因・範囲・処置を確認する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。個別測定値にも規格要求がある場合、平均だけで合格とはできない。

イ：誤り。全測定値を記録管理する。

ウ：誤り。測定結果を恣意的に削除しない。

エ：正しい。個別規格値を外れた点を適切に処理する。

総合解説：出来形管理では平均値・代表値だけでなく、適用基準が求める個々の規格適合を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0061｜難易度：2

ICT出来形計測で一部の点群が周辺と不自然にずれている。最も適切な対応はどれか。

ア．点群データなので機械が自動生成した値を無条件に採用する。

イ．従来測量は不要なので現地確認もしない。

ウ．異常点だけ削除して理由を残さない。

エ．基準点、機器設定、観測条件、データ処理を確認し、必要に応じ再計測して信頼性を確保する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。ICTデータにも設定・観測・処理上の誤差要因がある。

イ：誤り。異常時には現地・基準点等の確認が必要である。

ウ：誤り。データ除外には技術的根拠と記録が必要である。

エ：正しい。データ品質に異常がある場合は測量系統全体を確認する。

総合解説：ICT出来形管理でも、データ取得条件と精度を検証してから判定に用いる。

問題 0062｜難易度：3

橋台の位置が規格値を外れており、上部工との取り合いにも影響する可能性がある。最も適切な対応はどれか。

ア．位置ずれを図面上だけ修正して施工を続ける。

イ．工期優先でそのまま受け入れる。

ウ．上部工側を現場判断で加工して合わせる。

エ．測定精度を再確認し、ずれ量・方向・影響範囲を確定し、構造・施工上の影響を評価して監督職員等と是正方法を協議する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。現物不適合は図面修正だけでは解決しない。

イ：誤り。機能・構造への影響を無視できない。

ウ：誤り。上部工の無断変更は新たな品質問題を生む。

エ：正しい。測定確認、影響評価、協議、是正という適切な流れである。

総合解説：重要出来形の不適合は単純な寸法修正ではなく、後続構造との整合性まで評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0063｜難易度：1

労働災害の原因分析として最も適切な考え方はどれか。

ア．被災者の不注意だけを原因として終了する。

イ．事故原因は必ず1つに決める。

ウ．事故が起きた機械だけ廃棄して原因分析をしない。

エ．直接原因だけでなく、設備・作業方法・教育・指揮・計画等の背景要因まで確認する。

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。不注意の背景に設備・手順・管理上の要因があることが多い。

イ：誤り。複数要因が重なって事故に至ることがある。

ウ：誤り。機械だけでなく作業システム全体を確認する。

エ：正しい。再発防止には直接原因と管理上の根本要因の両方を分析する必要がある。

総合解説：災害原因分析は責任追及ではなく、同種災害を防ぐために危険源と管理上の弱点を明らかにする作業である。

問題 0064｜難易度：2

高さ3mの作業床端部から作業員が墜落した。手すりが一時撤去され、墜落制止用器具も使用されていなかった。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア．作業員が足を滑らせたことだけを原因とする。

イ．手すり撤去後の復旧・代替措置、作業許可、器具使用、監督体制が機能していたか確認する。

ウ．天候だけを原因とする。

エ．ヘルメットの色を原因とする。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。墜落防護が失われた管理上の要因を見逃している。

イ：正しい。設備防護の欠落と、その状態を許した手順・監督まで分析している。

ウ：誤り。天候の有無だけでは事故経路を説明できない。

エ：誤り。事故原因との因果関係がない。

総合解説：墜落事故では、端部防護、開口部管理、墜落制止用器具、作業手順、監督の各層を確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0065｜難易度：2

バックホウ後退時に作業員と接触した。最も適切な原因分析はどれか。

ア．運転者の前方不注意だけを確認する。

イ．後方死角、作業員動線、立入禁止範囲、誘導者配置、合図方法、後退頻度等を確認する。

ウ．作業員の年齢だけを確認する。

エ．バックホウの製造年だけを確認する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。後退時の死角や作業分離などシステム要因を確認する必要がある。

イ：正しい。人・機械の交錯を生んだ複数要因を分析できる。

ウ：誤り。年齢だけでは事故経路を説明できない。

エ：誤り。製造年だけでは原因を特定できない。

総合解説：重機接触災害は死角、動線交錯、誘導不備、立入管理不足が重なって発生することが多い。

問題 0066｜難易度：2

降雨翌日に深さ3mの掘削溝が崩壊した。土止めは未設置で、掘削土を端部近くに積んでいた。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア．雨だけが原因なので施工計画は問題ない。

イ．降雨による地山状態変化、土止め未設置、上載荷重、再開前点検の有無を確認する。

ウ．掘削深さだけを確認する。

エ．作業員の服装だけを確認する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。複数の施工管理上の要因が存在する。

イ：正しい。地山条件・支保・上載荷重・点検という主要要因を分析している。

ウ：誤り。深さだけでは崩壊経路を説明できない。

エ：誤り。崩壊原因との関連がない。

総合解説：地山崩壊では地質・水・掘削形状・支保工・上載荷重・点検を総合的に確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0067｜難易度：2

移動式クレーンが吊上げ中に転倒した。最も優先して確認すべき事項の組合せはどれか。

ア．吊荷重量、作業半径、ブーム条件、アウトリガー状態、地盤支持力

イ．クレーンの塗装色、運転者の靴、現場事務所の面積

ウ．工事看板の寸法、昼食時間、車両の洗車状況

エ．監督職員の勤務年数だけ

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。転倒モーメントと支持条件に直結する主要因である。

イ：誤り。転倒原因との技術的因果関係が乏しい。

ウ：誤り。転倒機構を説明できない。

エ：誤り。一個人の勤務年数だけでは原因分析にならない。

総合解説：クレーン転倒は能力超過と地盤・アウトリガー支持不良の双方から分析する。

問題 0068｜難易度：2

高所から工具が落下し、下方の作業員に当たった。原因分析として不十分なものはどれか。

ア．工具の落下防止措置を確認する。

イ．下方の立入禁止・防護棚の有無を確認する。

ウ．高所作業と下方作業を同時に行う工程調整の有無を確認する。

エ．被災者が工具の落下位置にいたことだけで原因分析を終える。

答え・解説　正答：エ

ア：誤りではない。発生源対策の確認は必要である。

イ：誤りではない。落下物が人に到達しない防護を確認する。

ウ：誤りではない。上下作業の混在を生んだ工程要因も重要である。

エ：正しい。不十分である。被災者位置だけでなく、落下防止・立入管理・工程調整を分析すべきである。

総合解説：飛来落下災害は『落とさない』『届かせない』『人を入れない』の防護層がなぜ破れたかを分析する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0069｜難易度：3

バックホウ掘削中に既設ガス管を損傷した。図面上の位置と実際の位置に差があった。最も適切な原因分析はどれか。

ア．図面が違っていたため施工者側に確認すべき事項はない。

イ．図面確認だけでなく試掘、現地表示、管理者立会い、近接部の掘削方法、運転者への周知が行われたか確認する。

ウ．ガス管が古かったことだけを原因とする。

エ．バックホウが新型だったことを原因とする。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。図面誤差を前提とした現地確認手順が必要である。

イ：正しい。埋設物事故防止の複数防護が機能したかを分析している。

ウ：誤り。管の古さだけでは掘削接触を防げなかった理由にならない。

エ：誤り。新旧だけでは原因を説明できない。

総合解説：埋設物事故では資料と現地の差異を吸収する確認手順が重要な防護となる。

問題 0070｜難易度：2

工事車両が現場出入口で自転車と接触した。最も適切な原因分析はどれか。

ア．自転車利用者の不注意だけを確認する。

イ．出入口の見通し、車両動線、歩行者・自転車動線、誘導員配置、一時停止位置、出場手順を確認する。

ウ．車両の積載量だけを確認する。

エ．工事全体の請負金額だけを確認する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。施工者側の出入口管理を分析する必要がある。

イ：正しい。第三者との交錯を生んだ現場条件と管理措置を確認している。

ウ：誤り。接触の主要因とは限らない。

エ：誤り。事故原因とは関係しない。

総合解説：工事車両と第三者の事故では、現場境界部の視認性・動線・誘導が重要な分析対象となる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0071｜難易度：2

クレーンブームが架空電線に接近し感電事故が発生した。原因分析として最も適切なものはどれか。

ア．電線位置・電圧、必要離隔、クレーン最大到達範囲、防護措置、監視員・高さ制限の有無を確認する。

イ．クレーンの燃料残量だけを確認する。

ウ．運転者の身長だけを確認する。

エ．感電したので原因は電気そのものと結論付ける。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。接触・接近を防ぐための計画と管理措置を総合的に確認している。

イ：誤り。感電経路の原因分析にならない。

ウ：誤り。関係しない。

エ：誤り。危険源の存在だけでなく、なぜ防護できなかったかを分析する必要がある。

総合解説：架空線災害では機械の可動範囲と電線位置を施工前に照合し、物理・人的防護を確認する。

問題 0072｜難易度：2

真夏の舗装工事で作業員が熱中症により救急搬送された。最も適切な原因分析はどれか。

ア．本人の体力不足だけを原因とする。

イ．WBGT、作業強度、休憩・水分塩分、暑熱順化、健康状態、監視・報告体制、発症後対応を確認する。

ウ．気温だけを確認し他条件は見ない。

エ．舗装工事では熱中症は避けられないとする。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。個人要因だけでなく作業環境・管理体制を確認する。

イ：正しい。環境、作業、個人、管理、緊急対応の各要因を網羅している。

ウ：誤り。湿度・輻射熱等を含む暑熱負荷や作業条件も重要である。

エ：誤り。適切な予防措置でリスクを低減できる。

総合解説：熱中症災害は作業環境と労務・健康管理を一体で分析する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0073｜難易度：2

作業員がバルブ操作を誤り事故が発生した。『操作ミス』の背景として確認すべき事項はどれか。

ア．手順書の明確さ、表示、教育、類似バルブ配置、時間的余裕、指差確認等

イ．作業員の趣味だけ

ウ．会社の創業年だけ

エ．現場事務所の壁色だけ

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。人が誤操作しやすい条件や、誤りを防止・検出する仕組みを確認する。

イ：誤り。操作ミスとの直接的な関連がない。

ウ：誤り。事故経路を説明しない。

エ：誤り。関係しない。

総合解説：ヒューマンエラーは『人が間違えた』で止めず、間違えやすい設備・手順・環境を分析する。

問題 0074｜難易度：3

夜間工事で、照明不足の中、誘導員不在のままダンプが後退し作業員と接触した。最も適切な原因整理はどれか。

ア．直接原因は車両接触、背景要因として照度不足・誘導体制欠如・動線分離不足・夜間作業計画不備を整理する。

イ．運転者だけを原因とし、現場条件は分析しない。

ウ．夜間だったことだけを原因とする。

エ．被災者が現場にいたことを根本原因とする。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。事故発生の直接事象と、それを許した複数の管理要因を因果関係で整理している。

イ：誤り。システム上の防護欠如を見逃す。

ウ：誤り。夜間そのものではなく夜間に必要な対策不足を分析する。

エ：誤り。作業員が安全に働ける環境を整える必要がある。

総合解説：複合事故では原因を階層化し、どの防護層がなぜ機能しなかったかを整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0075｜難易度：1

再発防止策として最も重要な考え方はどれか。

ア．事故原因と関係なく一般的な注意事項を増やす。

イ．特定した直接原因・根本原因に対応する対策を選び、実施状況と効果を確認する。

ウ．被災者以外には情報を共有しない。

エ．事故後1日だけ対策する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。原因に効かない対策では再発を防げない。

イ：正しい。原因と対策を対応させ、効果確認まで行うことが重要である。

ウ：誤り。類似作業への水平展開が必要である。

エ：誤り。継続的な定着確認が必要である。

総合解説：再発防止は『原因→対策→実施→効果確認→水平展開』までを一連で管理する。

問題 0076｜難易度：2

手すりを外した状態での作業中に墜落事故が発生した。再発防止として最も適切なものはどれか。

ア．『手すりを外すときは気を付ける』と掲示するだけ。

イ．手すり撤去を許可制にし、代替墜落防護を事前に設け、復旧確認をチェックリスト化し、監督者が確認する。

ウ．事故を起こした作業員だけ配置転換する。

エ．ヘルメットを新しくするだけ。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。注意喚起だけでは同じ状態が再現される。

イ：正しい。危険状態の発生自体を管理し、代替防護と復旧確認を制度化している。

ウ：誤り。システム上の原因が残る。

エ：誤り。墜落そのものの防止策にならない。

総合解説：設備を一時撤去する非定常作業は許可・代替措置・復旧確認を標準化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0077｜難易度：2

バックホウ後退事故の再発防止として最も効果的なものはどれか。

ア．作業員に『重機に近づくな』と一度伝える。

イ．人と重機の動線を分離し、後退区域を立入禁止とし、必要時は誘導者・カメラ等を併用する。

ウ．バックホウの速度を少し上げる。

エ．事故を起こした日にだけ誘導員を配置する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。教育だけでは誤進入や死角を完全に防げない。

イ：正しい。物理的な分離を中心に複数の防護を組み合わせている。

ウ：誤り。接触リスクを高める可能性がある。

エ：誤り。継続的な再発防止にならない。

総合解説：重機災害は人の注意に依存せず、動線分離を優先して防止する。

問題 0078｜難易度：2

ある現場で足場開口部の養生不足による事故が発生した。再発防止として適切な水平展開はどれか。

ア．事故現場の開口部だけ直して終了する。

イ．同現場および他現場の類似開口部・床端部を点検し、共通の養生基準と確認方法を展開する。

ウ．事故を知らない作業員には伝えない。

エ．次の事故が起きたら他現場も点検する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。同種危険が他箇所に残る。

イ：正しい。共通原因が存在する可能性のある範囲へ対策を広げている。

ウ：誤り。災害情報の共有は再発防止に重要である。

エ：誤り。予防的に水平展開する。

総合解説：再発防止策は当該箇所だけでなく、同種作業・設備へ水平展開する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0079｜難易度：2

事故後に作業手順書を改訂した。次に行うべきこととして最も適切なものはどれか。

ア．改訂版を事務所に保管して終了する。

イ．関係者へ教育・周知し、現場で新手順が実施されているか確認し、問題があれば再修正する。

ウ．旧手順書も現場へ残して自由に選ばせる。

エ．作業員には改訂理由を説明しない。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。文書変更だけでは現場行動は変わらない。

イ：正しい。手順の定着と実効性を確認している。

ウ：誤り。旧版混在は誤作業の原因となる。

エ：誤り。背景を理解させることで遵守しやすくなる。

総合解説：再発防止は文書化だけでなく教育・実施確認・改善まで行う。

問題 0080｜難易度：2

回転部への巻き込まれ事故が発生した。再発防止として最も適切な優先順位はどれか。

ア．注意看板だけを増やす。

イ．可能なら危険部へ接触できない固定ガードやインターロック等を設け、その上で手順・教育・保護具を整える。

ウ．作業員の集中力訓練だけを行う。

エ．事故を起こした人を交代する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。注意喚起は補助的対策である。

イ：正しい。危険源への接近を設備的に防止する対策を優先している。

ウ：誤り。人の注意だけに依存する。

エ：誤り。設備上の危険が残る。

総合解説：再発防止では可能な限り工学的・物理的対策を優先し、人依存を減らす。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0081｜難易度：1

再発防止策の有効性確認として最も適切なものはどれか。

ア．対策を実施した日付だけ記録する。

イ．点検結果、違反件数、ヒヤリハット、類似不具合の発生状況等を一定期間確認する。

ウ．事故が翌日に起きなければ恒久対策と判断する。

エ．作業員の感想だけで評価する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。実施した事実だけでは効果が分からない。

イ：正しい。複数の安全指標を一定期間追跡して有効性を確認している。

ウ：誤り。短期間だけでは定着・再発を判断できない場合がある。

エ：誤り。客観指標も用いる必要がある。

総合解説：再発防止策は実施後に定着度と事故リスクの低下を確認する。

問題 0082｜難易度：2

新規入場者が現場独自の一方通行ルールを知らず、重機動線へ進入した。最も適切な再発防止はどれか。

ア．新規入場教育に動線図・実地確認を追加し、理解確認を行い、現場標識も改善する。

イ．本人へ口頭注意するだけ。

ウ．今後は新規入場者を採用しない。

エ．重機運転者だけに注意させる。

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。教育内容・理解確認・現場表示という原因に対応した複数対策である。

イ：誤り。同じ教育不足が次の入場者でも起こる。

ウ：誤り。原因に対する合理的なシステム改善ではない。

エ：誤り。進入防止側の対策も必要である。

総合解説：教育不足が原因なら、教育プログラムと現場表示・確認方法を改善する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0083｜難易度：3

工程変更で夜間作業が追加されたが、安全計画を更新せず接触事故が起きた。最も適切な再発防止はどれか。

ア．今後は夜間作業をすべて禁止する。

イ．工程・機械・人員・時間帯の変更時にリスク再評価を必須化し、照明・誘導・配置等の変更内容を承認・周知する手順を設ける。

ウ．事故当日の班だけ再教育する。

エ．昼間の安全計画をそのまま使い続ける。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。必要な夜間作業まで一律禁止するのは合理的でない。

イ：正しい。変更時に新たなリスクを拾う管理プロセスを制度化している。

ウ：誤り。組織的な変更管理不足が残る。

エ：誤り。夜間特有の視認性等を反映できない。

総合解説：非定常・変更作業の事故は、変更管理プロセスを再発防止策に組み込むことが重要である。

問題 0084｜難易度：3

過去に複数現場で同種の玉掛け事故が発生している会社の恒久対策として最も適切なものはどれか。

ア．各事故現場で個別に注意喚起するだけ。

イ．事故データを横断分析し、共通原因を特定して玉掛け計画・用具点検・資格確認・合図・立入管理の標準を改訂し、全現場で監査する。

ウ．事故件数を社外へ見せないことを優先する。

エ．熟練者だけが事故を知っていればよい。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。全社的な共通原因を解消できない。

イ：正しい。複数事故の共通要因を標準・監査へ反映し、組織的に再発を防ぐ。

ウ：誤り。情報を隠すことは再発防止にならない。

エ：誤り。全関係者へ必要な情報を共有する。

総合解説：繰返し事故では個別対策ではなく、会社標準や施工計画書の仕組みまで改善する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0085｜難易度：1

墜落防護のない高所で作業員が作業しているのを発見した。施工管理者の指示として最も適切なものはどれか。

ア．次の休憩時間まで作業を続けさせる。

イ．直ちに作業を停止させ、安全な場所へ退避させて必要な墜落防止措置を整えてから再開する。

ウ．本人へ後で注意するとだけ伝える。

エ．写真を撮るだけで作業には介入しない。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。重大災害のおそれがある状態を継続させてはならない。

イ：正しい。危険を即時に除去・隔離してから再開する。

ウ：誤り。即時是正が必要な危険である。

エ：誤り。記録より先に安全確保を行う。

総合解説：切迫した重大危険では、作業停止と人の退避を優先する。

問題 0086｜難易度：1

現場で不安全状態を発見した際の是正指示として、最も適切なものはどれか。

ア．『もっと気を付けろ』とだけ指示する。

イ．危険箇所、必要な是正措置、担当者、完了期限、再開条件を明確に指示する。

ウ．責任者を決めず全員へ任せる。

エ．期限を定めず余裕があるときに直すよう伝える。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。何をどう直すか不明確である。

イ：正しい。是正内容と責任・期限・確認条件が具体的である。

ウ：誤り。責任の所在が曖昧になる。

エ：誤り。危険状態が放置される可能性がある。

総合解説：是正指示は具体的で、実施後に完了確認できる形にする。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0087｜難易度：2

足場の壁つなぎが資材搬入のため無断で外されている。最も適切な是正指示はどれか。

ア．搬入が終わるまでそのまま使用する。

イ．足場の使用を必要範囲で停止し、構造安全を確認して壁つなぎを復旧又は代替補強し、点検後に使用再開する。

ウ．手すりを増やせば壁つなぎは不要とする。

エ．作業員数を減らして使用を続ける。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。足場倒壊の危険がある。

イ：正しい。構造安全を回復し、点検確認後に再開する。

ウ：誤り。手すりは足場全体の水平安定を代替しない。

エ：誤り。根本的な構造不具合が残る。

総合解説：仮設構造物の重要部材欠損は、使用継続ではなく安全状態へ復旧してから再開する。

問題 0088｜難易度：2

バックホウ旋回範囲内に作業員が頻繁に立ち入っている。最も適切な是正指示はどれか。

ア．運転者にゆっくり旋回するよう言うだけ。

イ．作業を一旦調整し、立入禁止範囲を明示して人の動線を変更し、必要な誘導方法を定めて関係者へ周知する。

ウ．作業員へ自己責任で避けるよう伝える。

エ．警報音が聞こえるので現状維持とする。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。人と機械の交錯自体が残る。

イ：正しい。動線分離を中心に現場状態を是正している。

ウ：誤り。危険管理を作業員個人へ委ねている。

エ：誤り。警報だけでは接触を防止できない。

総合解説：危険区域への進入が常態化している場合、標識だけでなくレイアウト・作業手順を変更する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0089｜難易度：2

工程遅延を理由に、強度確認前のコンクリート上へ重機を載せるよう求められた。施工管理者の指示として最も適切なものはどれか。

ア．工程優先で載せる。

イ．必要強度を確認できるまで載荷を認めず、代替工程や施工順序を調整する。

ウ．軽い重機なら根拠なく載せる。

エ．作業員の経験で安全か判断させる。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。構造安全・品質を損なう可能性がある。

イ：正しい。安全・品質上の前提条件を守り、工程側を調整する。

ウ：誤り。必要な構造検討・強度確認がない。

エ：誤り。客観的な安全条件で判断する。

総合解説：施工管理者は工程圧力があっても安全・品質の必須条件を守る必要がある。

問題 0090｜難易度：2

危険状態を是正した後、作業を再開する判断として最も適切なものはどれか。

ア．是正担当者が『直した』と言えば確認せず再開する。

イ．是正内容が指示どおり完了し、危険が許容できる状態まで低減されたことを現場で確認して再開する。

ウ．工期が遅れていれば未完了でも再開する。

エ．写真が1枚あれば現場確認は不要とする。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。是正完了を客観的に確認する必要がある。

イ：正しい。再開条件を満たしたことを確認してから作業を再開する。

ウ：誤り。危険状態を残して再開してはならない。

エ：誤り。必要に応じ現物確認を行う。

総合解説：是正指示は『指示→実施→完了確認→再開承認』まで管理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0091｜難易度：3

同じ作業班で墜落制止用器具の未使用が繰り返されている。最も適切な是正対応はどれか。

ア．毎回口頭注意だけ行う。

イ．作業を止めて未使用理由を確認し、取付設備・器具適合性・手順・教育・監督方法を見直し、再教育と履行確認を行う。

ウ．違反者だけ現場から外し、設備や手順は確認しない。

エ．未使用が多いのでルール自体を廃止する。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。繰返し違反の背景原因が解消されない。

イ：正しい。行動だけでなく、ルールを守れない設備・手順・監督上の原因まで是正している。

ウ：誤り。個人要因だけとは限らない。

エ：誤り。危険防止上必要なルールを廃止してはならない。

総合解説：同じ違反が繰り返される場合、個人注意ではなく管理システムの欠陥を疑う。

問題 0092｜難易度：3

強風時に足場シートが大きくあおられ、道路側の仮囲いも傾き、クレーン作業も継続している。最も適切な現場指示はどれか。

ア．各班に任せて作業を継続する。

イ．危険作業を直ちに中止し、作業員・第三者を危険範囲から退避・規制したうえで、足場・仮囲い・クレーンを安全状態へ移行し、点検後に再開判断する。

ウ．クレーン作業だけ止め、足場と仮囲いはそのままにする。

エ．写真撮影を優先し、交通規制は後で行う。

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。複数の重大危険が同時に存在している。

イ：正しい。人の隔離と危険源の安定化を優先し、全体を統一指揮している。

ウ：誤り。第三者災害・足場倒壊リスクが残る。

エ：誤り。記録より安全確保を優先する。

総合解説：緊急是正では最も重大な結果につながる危険から人を隔離し、複数危険源を統一的に安定化する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0093｜難易度：1

元請が発注者から直接請け負った一般土木工事で、建設工事に該当する一次下請契約の合計が5,200万円となった。元請が特定建設業者である場合、原則として配置すべき技術者はどれか。

ア．監理技術者

イ．主任技術者

ウ．安全管理者だけ

エ．現場代理人だけ

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。発注者から直接請け負い、建設工事の下請総額が5,000万円以上なので監理技術者の配置対象となる。

イ：誤り。建築一式以外で下請総額が5,000万円以上となる元請工事では、主任技術者に代えて監理技術者を置く。

ウ：誤り。安全管理者は建設業法上の配置技術者を代替しない。

エ：誤り。現場代理人も監理技術者の配置義務を代替しない。

総合解説：監理技術者の判定では元請であることと、建設工事に係る下請契約総額を見る。資材・警備・運搬等の非建設工事契約は原則この合計に含めない。

問題 0094｜難易度：1

個人住宅・長屋を除く重要な一般土木工事で、主任技術者又は監理技術者を原則専任とする請負代金額の現行下限はどれか。

ア．4,500万円以上：建築一式以外の重要工事における現行専任基準として扱う考え方

イ．4,000万円以上：改正前の専任基準を用いる考え方

ウ．5,000万円以上：監理技術者判定の下請総額基準と混同する考え方

エ．1億円以上：専任特例1号の適用上限側の金額を専任下限とみなす考え方

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。建築一式工事以外では請負代金4,500万円以上が原則専任の基準である。

イ：誤り。改正前に用いられた基準である。

ウ：誤り。5,000万円は監理技術者・特定建設業等の下請総額側の基準である。

エ：誤り。1億円は専任特例1号の適用上限側で現れる金額である。

総合解説：『下請総額5,000万円』と『請負代金4,500万円の専任』は別の判定軸として整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0095｜難易度：2

当初、一般土木工事の下請総額は3,800万円で主任技術者を配置していたが、設計変更に伴い下請総額が5,600万円となった。元請は特定建設業者である。最も適切な対応はどれか。

ア．下請総額が基準を超えた時点で、所定資格を有する監理技術者へ変更する

イ．当初が主任技術者だったので完成まで変更しない

ウ．下請業者の主任技術者を元請の監理技術者として扱う

エ．現場代理人を監理技術者の代わりにする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。工事途中で5,000万円以上となった場合、元請の特定建設業者は主任技術者に代えて監理技術者を置く。

イ：誤り。工事途中でも下請総額が基準以上となれば配置要件を見直す必要がある。

ウ：誤り。下請の主任技術者は元請の監理技術者を代替しない。

エ：誤り。現場代理人と監理技術者は別の役割である。

総合解説：変更が当初から予想される場合は、初めから監理技術者になり得る資格を持つ者を配置する考え方も重要である。

問題 0096｜難易度：2

国・地方公共団体等が発注する公共工事で、元請の専任監理技術者等を配置する場合の雇用関係について、最も適切なものはどれか。

ア．原則、入札申込日等以前に3か月以上の雇用関係が必要である

イ．工事契約後に1日だけ雇用すればよい

ウ．派遣社員であれば雇用期間を問わずよい

エ．他社在籍出向者を自由に専任配置できる

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。元請の専任監理技術者等について、入札申込日等以前に3か月以上の雇用関係が必要とされる。

イ：誤り。公共工事の専任技術者では、より確実な恒常的雇用関係が求められる。

ウ：誤り。原則として直接的かつ恒常的な雇用関係が必要である。

エ：誤り。在籍出向等は原則として直接的雇用関係を満たさない。

総合解説：技術者は単に資格を持つだけでなく、請負った建設業者との直接的かつ恒常的な雇用関係が必要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0097｜難易度：3

専任を要する一般土木工事2現場を同一の主任技術者が専任特例1号で兼務する計画である。要件として不適切なものはどれか。

ア．各工事の請負代金が1億円未満である

イ．現場間が1日で巡回可能かつ移動時間がおおむね2時間以内である

ウ．下請次数が3次までで、必要な連絡員・ICT措置等を講じる

エ．兼任現場数を4現場までとする

答え・解説　正答：エ

ア：誤りではない。一般土木では請負代金1億円未満が要件の一つである。

イ：誤りではない。巡回可能性とおおむね2時間以内という距離条件がある。

ウ：誤りではない。下請次数、連絡員、施工体制確認ICT、配置計画、現場確認機器等が要件となる。

エ：正しい。不適切である。専任特例1号の兼任現場数は2以下である。

総合解説：専任特例1号は単なる『遠隔管理なら兼務可』ではなく、金額・距離・下請次数・連絡員・ICT・計画書・兼任数等の要件を全て満たす必要がある。

問題 0098｜難易度：1

一次下請業者が元請から6,500万円の舗装工事を請け負った。一次下請業者が許可業者である場合、原則として配置する建設業法上の技術者はどれか。

ア．監理技術者

イ．現場代理人のみ

ウ．主任技術者

エ．技術者配置は不要

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。監理技術者は発注者から直接請け負った元請が一定額以上を下請に出す場合に配置する。

イ：誤り。現場代理人のみでは建設業法上の技術者配置を満たさない。

ウ：正しい。一次下請以下では、自らの請負工事に主任技術者を配置するのが原則である。

エ：誤り。許可業者が建設工事を施工する場合、原則として主任技術者を置く。

総合解説：『請負金額が大きい＝監理技術者』ではない。元請か下請か、下請契約総額はいくらかを分けて判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0099｜難易度：2

元請の監理技術者と一次下請の主任技術者の役割分担として、最も適切なものはどれか。

ア．元請は工事全体の統括的施工管理を行い、下請は自ら請け負った範囲の施工管理を行う

イ．下請主任技術者が元請工事全体の工程を単独で統括する

ウ．元請監理技術者は品質管理に関与しない

エ．双方とも施工計画・工程・品質の技術管理を行わない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。元請技術者は全体を統括し、下請技術者は自社請負範囲を管理する。

イ：誤り。全体統括は元請側技術者の役割である。

ウ：誤り。元請技術者は全体の品質管理も重要な職務である。

エ：誤り。施工計画・工程・品質・技術指導は主要な職務である。

総合解説：施工体制の実務では、元請が全体を統括し、各下請が担当範囲を管理する階層構造を明確にする。

問題 0100｜難易度：2

元請工事で発注者の指示により工事が全面的に一時中止され、現場施工が行われない期間がある。専任技術者の扱いとして、最も適切なものはどれか。

ア．契約工期中なので一日も例外なく現場専任でなければならない

イ．施工中止中は技術者自体を解雇しなければならない

ウ．全面的な一時中止期間が明確で適切な体制を確保できる場合、必ずしも専任を要しない期間となり得る

エ．工事再開時も技術者の配置は不要となる

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。契約工期中でも、現場が全面的に不稼働であることが明確な一定期間は例外となり得る。

イ：誤り。雇用関係を失わせる制度ではない。

ウ：正しい。全面一時中止期間など、現場が明確に不稼働な期間は必ずしも専任を要しない。

エ：誤り。現場施工再開後は必要な専任体制へ戻す。

総合解説：専任期間は形式的な契約工期だけでなく、実際に現場施工が行われる期間を踏まえて判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0101｜難易度：3

営業所技術者等が一定要件のもと現場技術者を兼務する場合の現行要件として、最も適切なものはどれか。

ア．兼務現場は原則1工事現場で、請負代金・距離・下請次数・連絡員・ICT措置等の要件を満たす

イ．全国何現場でも兼務できる

ウ．営業所で締結していない工事でも無条件に兼務できる

エ．雇用関係や連絡体制は問われない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。営業所技術者等の現場兼務には、対象工事、金額、1現場、距離、下請次数、連絡員、ICT、雇用関係等の条件がある。

イ：誤り。無制限の兼務は認められない。

ウ：誤り。当該営業所で締結された工事であること等が要件となる。

エ：誤り。直接的・恒常的雇用関係や連絡体制も重要な要件である。

総合解説：営業所技術者等の兼務特例と専任特例1号は似た条件を含むが、対象・兼務数等が異なるため区別する。

問題 0102｜難易度：3

請負代金8,000万円の公共土木工事を元請として受注し、建設工事の下請総額は5,300万円である。専任特例は用いない。最も適切な配置はどれか。

ア．非専任の主任技術者

イ．専任の主任技術者

ウ．専任の監理技術者

エ．技術者配置不要

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。下請総額5,000万円以上なので監理技術者が必要で、請負代金も専任基準を超える。

イ：誤り。監理技術者要件に該当している。

ウ：正しい。元請・下請総額5,300万円なので監理技術者、請負代金8,000万円なので原則専任となる。

エ：誤り。建設業者には適切な配置技術者が必要である。

総合解説：総合問題では『主任か監理か』と『専任か非専任か』を別々に判定し、最後に組み合わせる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0103｜難易度：1

元請が公共工事を受注し、100万円の建設工事を下請契約した。施工体制台帳について最も適切なものはどれか。

ア．下請額が5,000万円未満なので作成不要

イ．下請が1社なら作成不要

ウ．公共工事では下請契約を締結した場合、金額にかかわらず原則として施工体制台帳を作成する

エ．警備契約だけでなく建設工事契約も全て台帳対象外

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。公共工事では民間工事の5,000万円基準とは扱いが異なる。

イ：誤り。下請社数では除外されない。

ウ：正しい。公共工事では下請契約を締結したとき、下請金額にかかわらず施工体制台帳作成等が必要となる。

エ：誤り。建設工事の下請関係を把握するための台帳である。

総合解説：公共工事は発注者が施工体制を把握する必要性が高く、下請契約があれば金額にかかわらず台帳作成が原則となる。

問題 0104｜難易度：1

民間の一般土木工事で、一次下請は舗装3,000万円、排水1,700万円、区画線600万円、警備300万円、資材購入400万円である。施工体制台帳の金額判定に用いる建設工事の下請総額はいくらか。

ア．4,700万円：舗装3,000万円と排水1,700万円だけを合算する計算

イ．5,000万円：建設工事の合計額を丸めて判定する計算

ウ．5,300万円：舗装・排水・区画線を合算し、警備・資材購入を除く計算

エ．6,000万円：警備・資材購入まで建設工事の下請額へ含める計算

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。区画線工事600万円が抜けている。

イ：誤り。建設工事の合計とは一致しない。

ウ：正しい。舗装3,000＋排水1,700＋区画線600＝5,300万円。警備・資材購入は建設工事請負ではないため合計から除く。

エ：誤り。警備・資材購入まで建設工事の下請額に含めている。

総合解説：施工体制台帳や特定建設業の金額判定では、契約名ではなく『建設工事の請負契約か』を確認して集計する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0105｜難易度：1

施工体制台帳で建設工事の下請負人として原則記載対象となるものはどれか。

ア．資材を納入するだけの販売会社

イ．交通誘導だけを行う警備会社

ウ．測量業務だけを委託した会社

エ．建設工事を請け負った二次下請業者

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。資材納入のみは建設工事請負ではない。

イ：誤り。警備業務のみは建設工事請負ではない。

ウ：誤り。測量委託のみは建設工事請負ではない。

エ：正しい。再下請を含め、建設工事の請負関係にある下請負人を施工体制として把握する。

総合解説：台帳は重層的な建設工事請負関係を把握するもので、資材・調査・運搬・警備等の非建設工事契約とは区別する。

問題 0106｜難易度：1

施工体制台帳を作成する工事で、一次下請が新たに二次下請へ建設工事を発注した。最も適切な対応はどれか。

ア．一次下請は元請へ再下請負通知を行い、元請は施工体制台帳・体系図へ反映する

イ．元請と直接契約していないため記録しない

ウ．完成後にだけまとめて通知する

エ．二次下請が小規模なら常に通知不要とする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。再下請関係を元請へ通知し、最新の施工体制へ更新する。

イ：誤り。重層下請を含め施工体制を把握する制度である。

ウ：誤り。施工中の体制を把握するため、発生時に適切に通知・更新する。

エ：誤り。対象工事では契約関係を適正に把握する。

総合解説：施工体制台帳は作成時点の固定書類ではなく、下請関係の変更に合わせて更新する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0107｜難易度：1

施工体制を現場で確認する場面で、施工体系図から最も直接把握できる内容はどれか。

ア．工事原価の月別推移だけを示す

イ．品質試験値だけを一覧にする

ウ．元請から各次下請までの施工分担・技術者等の関係を分かりやすく示す

エ．作業員の給与額を表示する

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。原価管理表ではない。

イ：誤り。品質管理表ではない。

ウ：正しい。誰がどの工事を担当し、どのような施工体制になっているかを可視化する。

エ：誤り。賃金表示を目的とするものではない。

総合解説：施工体系図は施工体制台帳と対応し、現場の実際の重層下請構造を明確にする。

問題 0108｜難易度：2

施工中に一次下請1社が追加され、その主任技術者も新たに配置された。施工体制台帳作成工事で最も適切な対応はどれか。

ア．当初の台帳・体系図を完成まで変更しない

イ．口頭で関係者へ伝えるだけで書類は更新しない

ウ．新たな契約・技術者情報を確認し、台帳・体系図を現場の実態に合わせて更新する

エ．追加業者の工事が短期間なら記録しない

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。実際の施工体制と書類が不一致になる。

イ：誤り。法定書類による客観的な体制把握が必要である。

ウ：正しい。下請・技術者の変更を適時反映し、現場体制と一致させる。

エ：誤り。対象となる建設工事請負関係は適切に反映する。

総合解説：施工体制書類は現場の実態と常に対応していることが重要である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0109｜難易度：2

元請の特定建設業者が、二次下請に無資格者を必要資格業務へ従事させている事実を確認した。最も適切な対応はどれか。

ア．直接契約していない下請なので何もしない

イ．工期が遅れるため黙認する

ウ．法令違反を是正するよう指導し、是正されない場合は必要な通報等を行う

エ．元請の一次下請だけが指導対象である

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。特定建設業者の法令遵守指導は工事に携わる下請全体を対象とする。

イ：誤り。工期より法令遵守・安全確保を優先する。

ウ：正しい。現場での法令遵守指導、違反への是正指導、是正されない場合の許可行政庁への通報等が求められる。

エ：誤り。直接契約先だけに限定されない。

総合解説：元請は重層下請構造全体を把握し、技術者・安全・契約等の法令遵守を統括的に管理する。

問題 0110｜難易度：2

下請が増え、同一作業エリアで3職種が混在することになった。施工体制管理として最も適切なものはどれか。

ア．契約関係だけ台帳へ追加し、作業調整は各社に任せる

イ．下請間では直接連絡させない

ウ．台帳・体系図を更新するとともに、工程会議等で作業範囲・指揮系統・安全連絡体制を再調整する

エ．最も人数の多い会社へ全権を与える

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。書類更新だけでは現場の混在リスクを管理できない。

イ：誤り。必要な連絡調整を確保する必要がある。

ウ：正しい。法的な施工体制把握と、実務上の工程・安全調整を一致させている。

エ：誤り。元請の統括管理責任を放棄することになる。

総合解説：施工体制は書類上の組織図ではなく、実際の指揮・工程・安全管理体制へ結び付ける。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0111｜難易度：3

民間土木工事の元請で、建設工事の下請総額は5,400万円、うち二次下請もある。元請は特定建設業者である。最も適切な対応はどれか。

ア．主任技術者だけ配置し、施工体制台帳は不要

イ．監理技術者を置けば施工体制台帳は不要

ウ．監理技術者を配置し、施工体制台帳・施工体系図を作成して再下請関係まで把握する

エ．二次下請は元請と直接契約していないので施工体制から除く

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。下請総額5,000万円以上で監理技術者・台帳作成の要件に該当する。

イ：誤り。監理技術者配置と台帳作成は別々の義務である。

ウ：正しい。技術者配置と施工体制台帳管理を両方実施し、重層下請を把握する。

エ：誤り。再下請を含め施工体制を把握する。

総合解説：現場総合判断では、金額要件から技術者・許可・台帳を別々に判定し、一つの施工体制として統合する。

問題 0112｜難易度：1

堤高160mのダム建設工事を開始する場合、安衛法第88条の大規模建設工事の計画届として最も適切なものはどれか。

ア．仕事開始日の14日前までに労働基準監督署長へ届け出る

イ．届出は不要である

ウ．完成後30日以内に国土交通大臣へ届け出る

エ．仕事開始日の30日前までに厚生労働大臣へ届け出る

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。14日前は一定規模以上の建設工事等の計画届で現れる期限である。

イ：誤り。法定対象に該当する。

ウ：誤り。事前の安全審査を目的とする届出である。

エ：正しい。堤高150m以上のダムは大規模建設工事に該当し、厚生労働大臣へ開始30日前までに届け出る。

総合解説：安衛法88条の計画届は工事規模により提出先・期限が異なるため、数値だけでなく制度区分を整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0113｜難易度：1

最大支間80mの橋梁建設工事を開始する計画である。安衛法第88条の計画届として最も適切なものはどれか。

ア．仕事開始日の14日前までに所轄労働基準監督署長へ届け出る

イ．仕事開始日の30日前までに厚生労働大臣へ届け出る

ウ．橋梁は計画届の対象にならない

エ．完成後にだけ届け出る

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。最大支間50m以上の橋梁は一定規模以上の建設工事等に該当し、監督署長へ14日前までの届出対象となる。

イ：誤り。最大支間500m以上等の大規模橋梁では30日前・厚労大臣の区分となるが、本事例はそこまで大規模ではない。

ウ：誤り。一定規模以上の橋梁は対象となる。

エ：誤り。着工前の計画届である。

総合解説：『50m以上＝14日前』と『500m以上（吊橋1,000m）＝30日前』など、規模区分を読み分ける。

問題 0114｜難易度：2

道路内に水道管を恒久的に埋設し、その施工中は片側交互通行を行う。最も適切な手続の考え方はどれか。

ア．道路占用許可だけ確認する

イ．道路使用許可だけ確認する

ウ．道路管理者への道路占用許可と、警察への道路使用許可の双方の要否を確認する

エ．建設業許可があれば道路関係手続は不要

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。施工中の交通規制には道路交通法上の手続も関係する。

イ：誤り。恒久的な地下管設置は道路法上の占用手続が必要となる。

ウ：正しい。占用と道路使用は根拠法・許可主体が異なるため双方を確認する。

エ：誤り。建設業許可とは別の公物管理・交通規制手続である。

総合解説：道路工事では『完成後の占用物件』と『施工中の道路使用』を分けて許可を整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0115｜難易度：2

河川区域内で土地を工事期間中占用し、仮設桟橋を設置し、その基礎のため土地を掘削する。最も適切な考え方はどれか。

ア．河川法第24条の土地占用だけ確認すればよい

イ．仮設物は河川法の対象外である

ウ．道路使用許可だけ受ける

エ．第24条の土地占用、第26条の工作物、第27条の土地掘削等の許可関係を施工内容ごとに確認する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。工作物設置や土地形状変更も別の許可対象となり得る。

イ：誤り。仮設物でも河川管理へ影響する場合は規制対象となる。

ウ：誤り。河川区域の公物管理手続を代替しない。

エ：正しい。一つの工事でも行為ごとに複数の河川法許可が関係する。

総合解説：河川法では占用・工作物・掘削等を行為ごとに整理し、必要な許可を漏れなく確認する。

問題 0116｜難易度：1

請負代金800万円の河川護岸改修工事で、既設コンクリート構造物を撤去してコンクリート塊が発生する。建設リサイクル法上の判断として最も適切なものはどれか。

ア．建築物以外の工作物工事で500万円以上かつコンクリートを扱うため、対象工事として必要な分別解体等・再資源化等の手続を行う

イ．建築物の解体ではないため、請負代金にかかわらず建設リサイクル法の対象外とする

ウ．床面積80m2の基準を満たすかどうかだけで対象工事を判定する

エ．河川工事は公共工事であるため、特定建設資材の再資源化義務は適用されない

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。建築物以外の工作物に関する工事は請負代金500万円以上が規模基準で、コンクリートは特定建設資材である。

イ：誤り。道路・橋梁・護岸など建築物以外の工作物工事も規模・資材要件により対象となる。

ウ：誤り。80m2は建築物解体の面積基準であり、護岸工事は請負代金基準で判定する。

エ：誤り。公共工事であることを理由に建設リサイクル法の義務がなくなるわけではない。

総合解説：建設リサイクル法の対象判定では、工事種類を先に分類し、建築物以外の工作物工事では請負代金500万円以上か、さらに特定建設資材を扱うかを確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0117｜難易度：2

床面積120m2の既存建築物を解体する。石綿含有建材の有無が不明である。最も適切な対応はどれか。

ア．工事を開始し、石綿が見つかったら調査する

イ．築年数が古くても発注者が不要と言えば調査しない

ウ．建設リサイクル法の届出だけで石綿手続を代替する

エ．解体前に石綿事前調査を行い、建築物解体80m2以上の報告対象として必要な報告を行う

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。解体・改修前に事前調査する。

イ：誤り。発注者の希望で法定調査を省略できない。

ウ：誤り。建設リサイクル法と石綿規制は目的・手続が異なる。

エ：正しい。解体前の事前調査が必要で、120m2は建築物解体の報告対象規模にも該当する。

総合解説：同一解体工事では建設リサイクル法と石綿関係法令が同時に適用され得る。

問題 0118｜難易度：1

労働災害で作業員が5日間休業した。労働者死傷病報告として最も適切なものはどれか。

ア．休業4日以上なので所轄労働基準監督署へ遅滞なく報告する

イ．四半期ごとにまとめて報告する

ウ．労災保険給付を請求すれば報告不要

エ．工事完成時にまとめて報告する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。死亡又は休業4日以上の災害は遅滞なく報告する。

イ：誤り。四半期ごとの扱いは休業1〜3日の場合である。

ウ：誤り。労災保険手続と死傷病報告は別制度である。

エ：誤り。遅滞なく報告する必要がある。

総合解説：事故後手続では、被災者への労災補償と行政への死傷病報告を別々に確認する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0119｜難易度：2

都市計画区域外で、延べ面積250m2の木造2階建て現場事務所を新築する計画である。2026年時点で最も適切な対応はどれか。

ア．区域外かつ木造なので建築確認は必ず不要

イ．仮設用途なら期間に関係なく全て確認不要

ウ．建設業許可があれば建築確認不要

エ．階数2以上又は延べ面積200m2超の対象として建築確認の要否を確認し、必要な手続後に着工する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。2025年4月施行の改正後は区域外でも対象規模がある。

イ：誤り。仮設建築物も条件に応じ法令上の手続確認が必要である。

ウ：誤り。建設業許可と建築確認は別制度である。

エ：正しい。構造によらず階数2以上又は延べ面積200m2超は確認対象となる。

総合解説：古い『区域外の小規模木造は確認不要』という感覚に頼らず、2025年改正後の規模区分を用いる。

問題 0120｜難易度：3

市街地の河川沿い道路工事で、道路内地下管の新設、車線規制、河川区域内の仮設足場、既存建物の一部解体を伴う。最も適切な施工前管理はどれか。

ア．最も時間のかかりそうな許可1件だけ申請する

イ．着工後に必要な届出を順次調べる

ウ．建設業許可があれば各工事許可は不要

エ．道路占用・道路使用、河川法許可、解体に伴うリサイクル・石綿等の要否を工種ごとに整理し、取得期限を工程表へ組み込む

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。複数法令が独立して適用される可能性がある。

イ：誤り。着工前に必要な手続を確認する。

ウ：誤り。建設業許可は道路・河川・環境等の手続を代替しない。

エ：正しい。施工行為ごとに許認可を洗い出し、取得を着工条件・工程条件として管理する。

総合解説：総合判断では、法令を個別暗記するだけでなく、施工条件から必要手続を抽出し工程へ組み込む。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0121｜難易度：2

次の元請工事の契約内訳から判断する。
【一次下請】土工2,400万円／舗装1,800万円／排水1,100万円／警備400万円／資材購入600万円。
建築一式以外の工事で、元請は特定建設業者である。最も適切な判断はどれか。

ア．建設工事の下請総額は5,300万円で、監理技術者が必要

イ．全契約総額は6,300万円なので監理技術者が必要

ウ．建設工事の下請総額は4,200万円なので主任技術者

エ．警備・資材購入も建設工事として必ず合算する

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。土工2,400＋舗装1,800＋排水1,100＝5,300万円で、警備・資材購入は建設工事の請負契約ではない。

イ：誤り。警備・資材購入まで建設工事の下請総額へ含めている。

ウ：誤り。排水工事1,100万円が抜けている。

エ：誤り。非建設工事契約は監理技術者判定の下請総額から除く。

総合解説：図表問題では金額を機械的に足すのではなく、まず『建設工事の請負契約か』で分類してから合計する。

問題 0122｜難易度：2

工程経路が次の3本である。
A→D→G：4日＋6日＋3日
B→E→G：5日＋4日＋3日
C→F→G：3日＋7日＋3日
各作業は独立条件を満たすものとする。クリティカルパスとして最も適切なものはどれか。

ア．A→D→Gのみ

イ．B→E→Gのみ

ウ．C→F→Gのみ

エ．A→D→GとC→F→G

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。A→D→Gは13日だが同じ13日の経路がもう1本ある。

イ：誤り。B→E→Gは12日で最長ではない。

ウ：誤り。C→F→Gは13日だが同じ13日の経路がもう1本ある。

エ：正しい。A→D→GとC→F→Gはいずれも13日で最長経路となる。

総合解説：複数の経路が同じ最長日数になる場合、クリティカルパスが複数存在する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0123｜難易度：1

設計値との差の規格が±20mmで、測定結果が【No.1 +8、No.2 -14、No.3 +22、No.4 -5mm】であった。最も適切な判断はどれか。

ア．4点とも合格

イ．平均値が約+3mmなので全点合格

ウ．No.2とNo.3が規格外

エ．No.3のみ規格外

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。No.3の+22mmは+20mmを超える。

イ：誤り。個別規格値を平均値で相殺してはならない。

ウ：誤り。No.2の-14mmは規格内である。

エ：正しい。No.1、2、4は±20mm以内だが、No.3だけ規格外である。

総合解説：出来形表は各測定点を規格値と照合し、平均だけで個別不適合を消さない。

問題 0124｜難易度：2

次の工事から建設リサイクル法の規模基準に該当するものを選ぶ。
①建築物解体70m2
②建築物新築600m2
③建築物修繕8,000万円
④道路工事450万円

ア．①のみ

イ．②・③・④

ウ．②と③

エ．②のみ

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。建築物解体は80m2以上が規模基準で、70m2は下回る。

イ：誤り。道路工事450万円は500万円未満である。

ウ：誤り。修繕8,000万円は1億円未満である。

エ：正しい。新築・増築は500m2以上なので600m2は該当する。修繕は1億円以上、土木工事等は500万円以上が基準である。

総合解説：規模基準は工事種類ごとに異なるため、まず工事を分類してから該当数値と比較する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0125｜難易度：2

次の工事条件のうち、原則として所轄労働基準監督署長へ仕事開始14日前までの計画届となるものはどれか。
①高さ320mの塔
②最大支間80mの橋梁
③堤高160mのダム
④長さ3,500mのずい道

ア．高さ320mの塔の建設工事

イ．長さ3,500mのずい道等の建設工事

ウ．堤高160mのダム建設工事

エ．最大支間80mの橋梁建設工事

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。高さ300m以上の塔は大規模建設工事として厚生労働大臣へ30日前の区分である。

イ：誤り。長さ3,000m以上のずい道等は30日前・厚生労働大臣の区分である。

ウ：誤り。堤高150m以上のダムは30日前・厚生労働大臣の区分である。

エ：正しい。最大支間50m以上の橋梁で、500m以上の大規模区分には達しないため14日前・監督署長の区分となる。

総合解説：同じ計画届でも、規模によって14日前・監督署長と30日前・厚生労働大臣の区分がある。

問題 0126｜難易度：2

ある日の現場記録は次のとおりである。
10時 WBGT27／12時 WBGT30／14時 WBGT31／16時 WBGT28。14時に重作業を予定している。最も適切な判断はどれか。

ア．14時は最も暑熱負荷が高いため、作業時間・休憩・交替・冷却等を重点的に見直す

イ．WBGTは気温と同じなので無視する

ウ．10時より14時の方が必ず安全である

エ．WBGT31でも水分補給だけで他の対策は不要

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。表中で最も高いWBGTの時間帯に重作業を行うため、作業計画・休憩等の見直しが必要である。

イ：誤り。WBGTは暑熱環境評価に用いる指標である。

ウ：誤り。表からは14時の暑熱負荷が高い。

エ：誤り。作業強度・休憩・冷却・健康状態等を総合管理する。

総合解説：図表の最大値を読むだけでなく、その時間帯に予定された作業強度と結び付けて判断する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0127｜難易度：2

移動式クレーンの定格総荷重が【作業半径6m：5.0t、8m：3.8t、10m：3.0t】とする。吊具を含む総荷重3.5tを吊る場合、能力上使用可能な最大作業半径はどれか。

ア．6m

イ．どの半径でも不可

ウ．10m

エ．8m

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。6mは可能だが最大半径ではない。

イ：誤り。6mと8mでは能力内である。

ウ：誤り。10mでは3.5tが定格3.0tを超える。

エ：正しい。8mでは3.8tまでで3.5tを吊れるが、10mでは能力3.0tを超える。

総合解説：クレーン能力は作業半径によって低下するため、実際の吊荷・吊具総重量と照合する。

問題 0128｜難易度：2

山留め壁の水平変位が【1日目2mm、2日目3mm、3日目5mm、4日目9mm、5日目16mm】と増加している。管理値到達前であっても最も適切な対応はどれか。

ア．管理値未満なので傾向は無視する

イ．変位が増えるほど山留めは安定していると判断する

ウ．5日目だけ記録から削除する

エ．増加速度が大きくなっているため、掘削・支保・地下水等を確認し必要に応じ作業を止めて対策を検討する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。管理値到達前でも急激な変化は異常兆候となる。

イ：誤り。増加傾向は安定性低下を示す可能性がある。

ウ：誤り。異常データを恣意的に削除しない。

エ：正しい。絶対値だけでなく変位速度・傾向を見て早期対応する。

総合解説：計測管理では管理値だけでなく、時系列の変化率や施工段階との対応を読む。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0129｜難易度：1

1日の処理能力が【掘削120m3、積込み100m3、運搬80m3、敷均し110m3】で直列作業するとする。全体の日施工能力を支配する工程はどれか。

ア．掘削

イ．積込み

ウ．運搬

エ．敷均し

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。120m3/日でボトルネックではない。

イ：誤り。100m3/日で運搬より能力が高い。

ウ：正しい。最小能力80m3/日の運搬が全体処理量を制約する。

エ：誤り。110m3/日で運搬より高い。

総合解説：直列工程では最も能力の低い工程が全体生産性を制約するため、工程回復時はボトルネック改善を優先する。

問題 0130｜難易度：2

過去1年間のヒヤリハット件数が【重機接触18、墜落・転落7、飛来落下5、感電2】で、重機接触18件のうち14件が後退時だった。最優先で追加検討すべき対策はどれか。

ア．後退時の人・機械動線分離、誘導、死角対策

イ．感電対策だけを強化する

ウ．全作業員の制服色を変更する

エ．飛来落下だけを重点対策とする

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。件数が最多で、さらに後退時へ集中しているため原因に対応した重点対策となる。

イ：誤り。感電も重要だが表の頻度傾向から最優先とは言いにくい。

ウ：誤り。事故傾向との因果関係が乏しい。

エ：誤り。表では重機接触の方が明確に多い。

総合解説：安全データは単に多い分類を見るだけでなく、その中の発生場面まで掘り下げて重点対策を決める。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0131｜難易度：2

道路工事の条件が【道路使用許可時間22:00〜5:00／大型車搬入可23:00〜4:00／周辺騒音配慮で破砕作業24:00まで】である。大型機械を搬入して破砕作業を行う開始時間として最も適切なのはどれか。

ア．21:30：道路使用許可開始前から着手する案

イ．22:30：道路使用許可後すぐに着手する案

ウ．23:00：大型車搬入可能時間の開始に合わせる案

エ．24:30：破砕作業終了条件を過ぎてから着手する案

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。道路使用許可時間前である。

イ：誤り。大型車搬入可能時間前である。

ウ：正しい。道路使用許可、大型車搬入、破砕作業時間の全条件を同時に満たす最も早い時刻である。

エ：誤り。破砕作業を24:00までとする条件を満たせない。

総合解説：複数条件がある図表では、それぞれの許容範囲の共通部分を求める。

問題 0132｜難易度：3

着工前確認表が【道路占用：許可済／道路使用：申請中／河川工作物：許可済／石綿事前調査：完了・報告対象外】となっている。車線規制を伴う道路掘削を明日開始する予定である。最も適切な判断はどれか。

ア．道路占用が許可済なので予定どおり着手する

イ．申請中なら許可済みと同じ扱いにする

ウ．河川許可があるので道路使用許可も取得済みとみなす

エ．道路使用許可が必要な作業は許可取得・条件確認まで開始せず、工程を調整する

答え・解説　正答：エ

ア：誤り。車線規制に必要な道路使用許可がまだ得られていない。

イ：誤り。行政処分としての許可成立を確認する必要がある。

ウ：誤り。河川法と道路交通法の許可は別制度である。

エ：正しい。申請中と許可済みは異なり、必要な許可を着工条件として管理する。

総合解説：許認可一覧は『申請済』ではなく『許可済・条件確認済』まで確認して着工判定に用いる。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0133｜難易度：1

施工計画の条件整理として最も適切なものはどれか。

ア．法令・設計・許可条件など変更できない制約と、機械・手順など選択可能な条件を分けて整理する

イ．全条件を同じ重要度として羅列するだけ

ウ．法令条件も現場都合で自由に変更できるものとして扱う

エ．工期だけ整理し安全・品質条件は除く

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。変更不能な要求条件と、比較検討できる施工条件を分けると合理的な案を選定しやすい。

イ：誤り。優先順位や制約関係が分からない。

ウ：誤り。法令・許可条件は施工者の都合で任意変更できない。

エ：誤り。安全・品質も必須条件である。

総合解説：複合判断では、まず『絶対に満たす条件』と『選べる手段』を区別することが重要である。

問題 0134｜難易度：2

生コン工場から現場まで通常45分、交通規制により7:30〜9:00は90分を要する。現場の打込み開始は8:00、受入れ遅延を避けたい。最も適切な計画はどれか。

ア．交通規制時間帯の所要時間を無視して通常45分で配車する

イ．運搬時間・打込み能力・配車間隔を再計算し、必要に応じ打込み時刻や出荷時刻を調整する

ウ．現場到着後に長時間待機させればよい

エ．遅れた場合は現場で自由に加水する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。既知の交通条件を工程へ反映していない。

イ：正しい。運搬条件と打込み工程を一体で再計画する。

ウ：誤り。長時間待機は品質へ影響する可能性がある。

エ：誤り。無断加水は認められない。

総合解説：物流条件は品質条件と密接に関係するため、単なる車両台数ではなく時間軸で整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0135｜難易度：2

夏期の床版コンクリートで、気温34℃、強風、日射が強い。最も適切な条件整理はどれか。

ア．高温だけを考え、風と日射は無視する

イ．コンクリート温度、水分逸散、施工区画、打込み時間、養生開始時期を関連付けて対策する

ウ．施工速度だけ上げて養生を後回しにする

エ．強度試験だけ行えば施工中の対策は不要

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。風・日射も表面乾燥や温度へ影響する。

イ：正しい。環境条件と施工・養生条件を関連付けて初期欠陥リスクを管理している。

ウ：誤り。養生遅れはひび割れリスクを高める。

エ：誤り。品質は施工中に作り込む必要がある。

総合解説：条件整理では一つの数値だけでなく、複数の環境条件が同じ品質不良へどう作用するかを考える。

問題 0136｜難易度：2

深さ4mの掘削で、前夜の豪雨後に湧水が増加し、掘削端部には重機が配置されている。最も適切な判断はどれか。

ア．通常どおり掘削を続ける

イ．地山・土止め・湧水・上載荷重を再確認し、必要に応じ作業停止、排水、重機離隔、補強を行う

ウ．湧水だけ排水すれば他条件は確認不要

エ．重機を端部へ近づけて掘削能力を上げる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。崩壊リスクが変化している可能性がある。

イ：正しい。雨・水・上載荷重・支保という相互作用を再評価している。

ウ：誤り。地山状態・重機荷重等も同時に確認する。

エ：誤り。端部上載荷重を増やし崩壊リスクを高める可能性がある。

総合解説：複数条件が同じ災害へ作用する場合、個別対策ではなく全体の安定性を再評価する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0137｜難易度：3

元請の一般土木工事で、請負代金7,000万円、建設工事の下請総額5,200万円。元請は特定建設業者で専任特例は用いない。最も適切な整理はどれか。

ア．主任技術者・非専任

イ．監理技術者・非専任

ウ．監理技術者・専任

エ．主任技術者・専任

答え・解説　正答：ウ

ア：誤り。下請総額5,000万円以上なので主任技術者ではない。

イ：誤り。請負代金7,000万円は4,500万円以上なので原則専任である。

ウ：正しい。下請総額から監理技術者、請負代金から専任と別々に判定する。

エ：誤り。専任判定は合うが技術者区分が違う。

総合解説：法規条件整理では、一つの金額で全てを判断せず、監理技術者要否と専任要否を別の軸で評価する。

問題 0138｜難易度：2

交通量の多い道路で地下管を更新する。管理図面には複数の既設管があり、夜間5時間だけ車線規制できる。最も適切な施工準備はどれか。

ア．規制開始後すぐ全面機械掘削を始める

イ．事前に管理者協議・試掘・現地表示を行い、規制時間内で完結できる施工区画・仮復旧手順を計画する

ウ．図面があるので試掘は不要

エ．規制時間を超えても作業完了を優先する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。埋設物位置が未確定のまま全面機械掘削するのは危険である。

イ：正しい。埋設物条件と交通時間制約を施工準備・区画へ反映している。

ウ：誤り。図面と現地の差を確認する必要がある。

エ：誤り。許可・規制条件を守る必要がある。

総合解説：施工条件が厳しいほど、現場着手前に不確定要素を減らすことが工程・安全の両方に有効である。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0139｜難易度：1

床面積90m2の建築物解体工事について、最も適切な法令整理はどれか。

ア．80m2以上なので建設リサイクル法と石綿事前調査結果報告の両方について要件を確認する

イ．80m2という同じ数値なので、どちらか一方の手続だけ行えばよい

ウ．建設リサイクル法だけ確認し石綿規制は無関係

エ．石綿報告だけ行えば分別解体等は不要

答え・解説　正答：ア

ア：正しい。両制度は同じ80m2基準が現れるが、目的・義務・手続は別である。

イ：誤り。同じ数値でも法令は独立して適用される。

ウ：誤り。解体工事では石綿事前調査等も別途確認する。

エ：誤り。石綿規制は建設リサイクル法を代替しない。

総合解説：条件整理では数値の一致に惑わされず、根拠法と手続を紐付ける。

問題 0140｜難易度：1

昼夜2交替に変更する工事で、玉掛け作業とクレーン作業が両シフトにある。最も適切な人員条件整理はどれか。

ア．昼班に資格者がいれば夜班は無資格でもよい

イ．各シフトに必要な資格者・指揮者・連絡体制を確保し、休息と引継ぎも含めて配置する

ウ．夜班は作業時間が短いので資格要件を無視する

エ．同じ資格者を昼夜連続で配置して休憩を省略する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。各シフトの実作業に必要な資格者が必要である。

イ：正しい。資格、安全、健康、情報引継ぎを同時に満たす配置となっている。

ウ：誤り。作業時間の長短で法定資格要件はなくならない。

エ：誤り。過度な連続勤務は安全・健康上不適切である。

総合解説：人員計画では人数だけでなく、資格・シフト・休息・指揮系統を条件として整理する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0141｜難易度：3

条件は【河川区域内／出水期／道路からの搬入は夜間のみ／仮設桟橋使用／工期短縮要求】である。最も適切な施工計画の進め方はどれか。

ア．工期短縮要求だけを最優先して24時間施工する

イ．河川許可・出水時撤去条件・道路使用時間・仮設桟橋安全・施工能力を制約条件として整理し、その範囲で工程短縮案を比較する

ウ．許可条件は着工後に確認する

エ．搬入時間だけ守れば他条件は自由に変更する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。法令・安全条件を無視した短縮は実行不能である。

イ：正しい。変更できない条件を先に固定し、その範囲で施工方法・工程を最適化している。

ウ：誤り。許可は着工前の前提条件となる。

エ：誤り。河川・仮設安全等の制約も同時に満たす必要がある。

総合解説：総合条件整理は、制約条件を先に明確化し、その後に施工案を比較する順序が重要である。

問題 0142｜難易度：2

豪雨後、掘削部の湧水が増え、山留め変位も前日比で急増している。一方、翌日に重要な工程が予定されている。最も適切な対応はどれか。

ア．工程優先で掘削を継続する

イ．作業を停止し、排水・山留め・周辺地盤を確認して安全を回復したうえで工程を再調整する

ウ．変位計の値を平均化して問題なしとする

エ．作業員数を増やして短時間で終える

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。崩壊兆候がある状態で工程を優先してはならない。

イ：正しい。重大危険を先に管理し、その後に工程回復を検討する。

ウ：誤り。急増傾向をデータ処理で隠してはならない。

エ：誤り。増員では地山・支保の危険は解消しない。

総合解説：総合判断では安全上の停止条件を最優先し、工程は安全条件が回復した後に再構築する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0143｜難易度：2

夏期のコンクリート打込み当日、予想以上の高温・強風となり、運搬時間も渋滞で長くなっている。最も適切な対応はどれか。

ア．予定数量を守るため受入れ条件を問わず全車打ち込む

イ．受入れ時品質を確認し、施工区画・配車・打込み速度・養生を見直し、品質確保できない場合は施工量や時間を調整する

ウ．現場で自由に加水して施工性を確保する

エ．養生を省略して工程遅れを防ぐ

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。予定数量より品質要求を満たすことが優先される。

イ：正しい。材料・運搬・施工・養生を一体で再調整している。

ウ：誤り。無断加水は品質を損なう。

エ：誤り。高温・強風時ほど養生が重要である。

総合解説：現場総合判断では、変化した施工条件を品質計画へ即時フィードバックする。

問題 0144｜難易度：3

道路上でクレーンを使用して橋梁部材を架設する。上空には架空線があり、道路使用許可時間も限られている。最も適切な計画はどれか。

ア．許可時間が短いので架空線離隔確認を省略する

イ．吊荷・作業半径・地盤・架空線離隔・交通規制条件を事前確認し、必要な防護・監視・試験配置を行って許可時間内の手順を確定する

ウ．交通規制だけ行えばクレーン安全条件は不要

エ．能力の大きいクレーンなら架空線へ近づいてもよい

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。時間制約で感電・接触防止を省略できない。

イ：正しい。揚重能力、支持、安全離隔、交通条件を一体で計画している。

ウ：誤り。交通安全と揚重安全は双方必要である。

エ：誤り。クレーン能力は架空線の電気的危険を消さない。

総合解説：複合工事では複数の重大リスクと許可条件を同時に満たす実行可能手順を作る。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0145｜難易度：3

工事途中の設計変更で、一般土木工事の下請総額が4,200万円から5,400万円へ増加し、工程も7日遅れる見込みとなった。元請は特定建設業者である。最も適切な対応はどれか。

ア．工程だけ修正し主任技術者はそのままとする

イ．監理技術者配置への変更要否を確認して適正体制へ切り替え、施工体制書類を更新し、遅延原因に応じた回復工程を作成する

ウ．下請金額を分割して5,000万円未満に見せる

エ．監理技術者を置けば工程管理は不要となる

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。下請総額が基準を超えたため技術者配置も見直す必要がある。

イ：正しい。法規上の施工体制変更と工程回復を同時に管理している。

ウ：誤り。実態に反する契約分割で法要件を回避してはならない。

エ：誤り。監理技術者配置後も工程管理は重要な職務である。

総合解説：設計変更は数量・工程だけでなく、下請総額に連動する法令要件まで再確認する。

問題 0146｜難易度：2

盛土の締固め度不足が連続して確認され、翌日から降雨予報、工程も遅延している。最も適切な対応はどれか。

ア．工程回復のため不足区間をそのまま次層で覆う

イ．不適合範囲・含水状態・敷均し厚・転圧条件を確認し、必要な是正を行い、降雨対策と回復工程を再計画する

ウ．平均値が良ければ不足値を無視する

エ．転圧回数だけ無条件で2倍にする

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。不適合を不可視化して問題を拡大させる。

イ：正しい。品質原因を確認して是正し、天候と工程条件も同時に再計画している。

ウ：誤り。個別規格値外を平均で相殺しない。

エ：誤り。含水状態等を無視して回数だけ増やしても有効とは限らない。

総合解説：品質不良時は手戻りを嫌って隠すのではなく、後工程前に是正し工程へ影響を反映する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0147｜難易度：2

夜間道路工事で近隣から騒音苦情があり、騒音の大きい破砕作業が残っている。道路使用許可時間は夜間のみである。最も適切な対応はどれか。

ア．苦情を無視して予定どおり破砕を継続する

イ．騒音発生源・時間帯を確認し、低騒音工法・防音・作業順序変更等を検討し、必要なら道路使用条件や工程も再協議する

ウ．道路使用許可があるので騒音対策は不要

エ．昼間に無許可で道路を規制して破砕する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。周辺環境への影響を適切に管理する必要がある。

イ：正しい。環境対策と道路使用条件を両立させるため工法・時間・工程を再検討している。

ウ：誤り。道路使用許可は環境規制や周辺配慮を免除しない。

エ：誤り。必要な道路使用手続を守る。

総合解説：一つの対策が別の許可条件と衝突する場合、関係条件を再協議して実行可能な案へ調整する。

問題 0148｜難易度：3

道路掘削中にガス管を損傷した疑いがあり異臭がする。最も適切な対応はどれか。

ア．掘削を続けて損傷位置を確認する

イ．作業停止、火気停止、退避・立入規制、関係事業者・消防等への連絡を行い、安全確保後に原因・手順・埋設物確認体制を検証する

ウ．作業員へマスクを配って継続する

エ．道路交通への影響を避けるため通報しない

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。爆発・中毒の二次災害を拡大させるおそれがある。

イ：正しい。緊急時の人命・公衆安全を優先し、その後に原因分析と再発防止へつなげる。

ウ：誤り。保護具だけでガス漏えい危険を管理できない。

エ：誤り。公衆災害のおそれがあり適切な通報・連絡が必要である。

総合解説：現場総合判断は事故の瞬間だけでなく、緊急措置→関係機関連絡→原因分析→再発防止まで含む。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/

問題 0149｜難易度：2

台風接近により強風・豪雨が予想され、現場には足場、仮囲い、クレーン、掘削部、資材仮置場がある。最も適切な対応はどれか。

ア．通常作業を続け、風が強くなってから考える

イ．中止基準に基づき作業を停止し、足場・仮囲い・クレーン・排水・資材を安全状態にし、第三者立入対策と台風後点検を計画する

ウ．クレーンだけ対応し他の仮設物は放置する

エ．資材を道路側へ移して現場内を空ける

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。事前に予測できる自然災害へ予防措置を講じるべきである。

イ：正しい。複数の危険源を台風前に安定化し、第三者安全と再開点検まで計画している。

ウ：誤り。強風・豪雨は他の仮設物・掘削にも影響する。

エ：誤り。道路側への資材移動は第三者災害を招く可能性がある。

総合解説：自然災害時は各設備を個別に見るだけでなく、風・雨・停電・冠水等の連鎖を想定する。

問題 0150｜難易度：3

道路拡幅工事で、①埋設管位置に図面との差、②盛土締固め度1点の規格外、③翌日から豪雨予報、④下請増額で監理技術者基準超過の見込み、⑤工期5日遅れが同時に判明した。最も適切な対応はどれか。

ア．工期遅れを最優先し、全ての作業を継続しながら後で書類を直す

イ．埋設物・豪雨に関する危険作業を必要に応じ停止し、品質不適合を隔離・確認し、技術者・施工体制要件を見直したうえで、安全・品質を満たす回復工程を再構築する

ウ．下請契約額だけ調整して他の問題は現場判断に任せる

エ．盛土の規格外値だけ削除して工程を維持する

答え・解説　正答：イ

ア：誤り。安全・品質・法令不適合を拡大させる。

イ：正しい。重大リスクを優先して安全・品質を確保し、法規上の体制も是正したうえで工程を立て直している。

ウ：誤り。契約操作だけで技術・安全・品質問題は解決しない。

エ：誤り。不適合記録の削除は品質管理として不適切である。

総合解説：実地・総合判断の最終段階では、①人命・重大災害防止、②品質・法令適合、③工程回復の順で条件を整理し、各管理分野を一つの施工計画へ統合する。

© 2026 資格ブートキャンプ｜個人学習用。法令上認められる場合を除き、無断転載・再配布・販売・第三者への配布・教材等への無断利用を禁止します。利用規約：https://shikaku-bootcamp.com/terms/